月刊 FALCOM MAGAZINE

Vol.49



東京ザナドゥ

TOKYO XANADU

最新作の情報解禁が本格スタート!

増量26ページ!

いよいよ第1章もクライマックス!

英雄伝説 閃の軌跡

4コマ漫画にアニメキャストコメント、さらには収録レポート漫画も!

みんな集まれ! ファルコム学園

『閃の軌跡』最新コラボ情報

序章のキャライラストや体験版の情報も!

英雄伝説 空の軌跡 FC Evolution

新連載!

一挙44ページ!

閃の軌跡からついに外伝小説が登場!

英雄伝説 閃の軌跡 ～メンタルクロスリンク～

著:草薙アキ　イラスト:YahaKo

jdkバンドボーカル・コテカナの

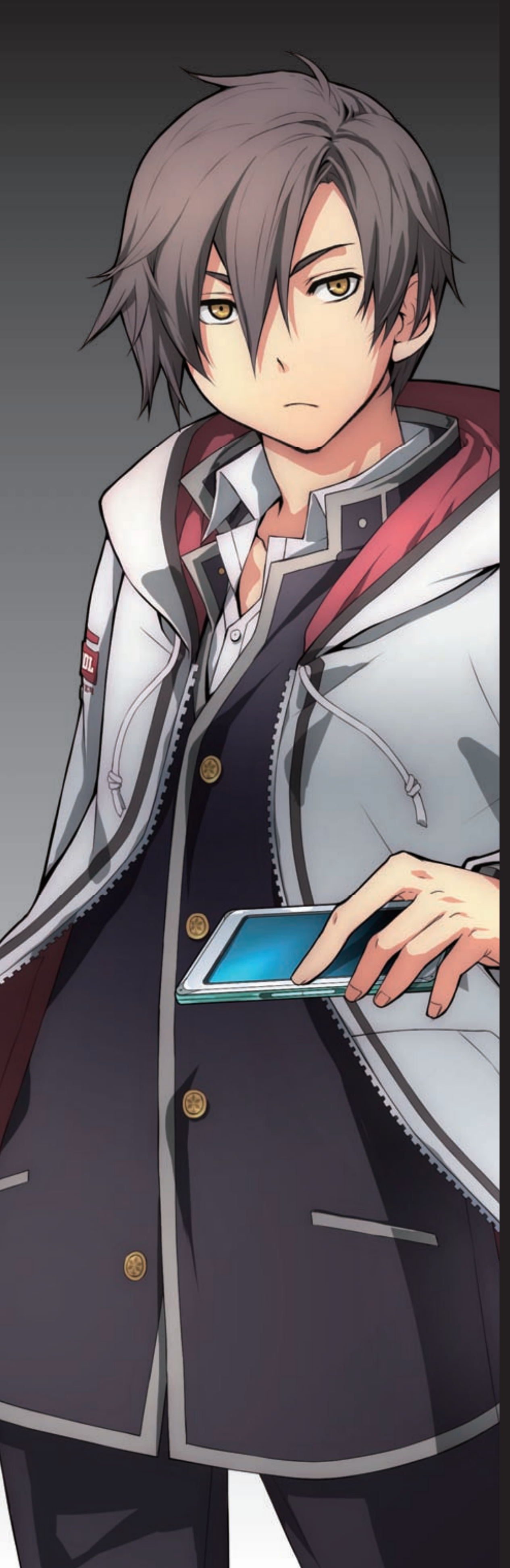
コテ放題♥

ファルコムjdk バンド ドラマー・オカジの

人生半キャラずらし

ティオのファルコムラジオ めんどくさいです… でもがんばりますの舞台裏

ファルコムニュース



FALCOM MAGAZINE

CONTENTS

3 目次

4 ついに期待の新作の続報が到着！
東京ザナドゥ

8 アニメ『ファル学SC』もついに後半戦！
アフレコ収録後の
キャストコメントを一挙大公開!!

12 みんな集まれ! ファルコム学園
新久保だいすけ

21 新久保先生がアニメの収録現場に突撃！
アニメのアフレコを見学するために
朝早い新幹線でやってきました
新久保だいすけ

26 序章のキャラクターイラストを一挙大公開！
英雄伝説 空の軌跡 FC Evolution

28 jdkバンドドラマー・オカジの
人生半キャラずらし

30 ティオのファルコムラジオ
めんどくさいです…
でもがんばりますの舞台裏

31 jdkバンドボーカル・コテカナの
コテ放題♥

34 ファルコムニュース

37 英雄伝説 閃の軌跡
脚本：恵村まお 漫画：さがら梨々

64 新連載！
英雄伝説 閃の軌跡
～メンタルクロスリンク～
著：草薙アキ イラスト：YahaKo



東京ザナドゥ

2015年の期待の新作 東京ザナドゥの最新情報が到着!!

昨年末に突如発表された日本ファルコム2015年の新作『東京ザナドゥ』。いくつかのビジュアルと、キャラクターが発表されて以来、その続報を待ち望んでいたファンも多かったはず。今月はその最新情報が、続々と到着したぞ！

◆ PROLOGUE

——その日、“日常”に穴が空いた。

東京郊外の《杜宮市》に住む
17歳の平凡な高校生《時坂洸（トキサカコウ）》は、
ある日のバイト帰りに、深夜の旧市街で“事件”と遭遇する。

柊明日香（ヒイラギアスカ）——

4月に帰国子女として編入したばかりの
容姿端麗にして明朗快活、人気者のクラス委員長が、
タチの悪い不良たちに絡まれ、連れて行かれようとしていたのである。

『なんでこんな時間に……！』
舌打ちしながらも、意を決して路地裏へと追いかける洸（コウ）。

果たしてそこには——
この世のものとは思えぬ、おぞましくも美しい空間と、
名状しがたき怪異（バケモノ）に喰われかかった不良たちと……

——虚空から、
鬼火のように青く輝く“剣”を取り出す“彼女”の姿があった——。

公式サイトもオープン！
http://www.falcom.com/tokyo_xanadu/



●製品情報
●タイトル　：東京ザナドゥ
●発売日　：2015年発売予定
●ジャンル　：都市型神話アクションRPG
●対応機種　：PlayStation®Vita
●プレイ人数：1人
●販売価格　：未定
●CERO　：審査予定

メインキャラクターの詳細やゲーム画面のスクリーンショットが到着!!

日本ファルコム初の現代劇ということで、期待も高まり続ける『東京ザナドゥ』。今回はイメージイラストの中でもメインキャラクターの存在感を示していたふたりのキャラクター・時坂洸と柊明日香の詳細。そして、実際のゲーム画面を写したスクリーンショットなどが、続々と到着したぞ！　本作に登場するキーワードの紹介も載せていくので、あわせてチェックしてみよう。



「……ったく、バイトが終わったばかりだってのに。」

時坂　洸（トキサカ・コウ）

17歳（CV:？？？）

《杜宮学園》に通う高校２年生で、若干ぶっきらぼうな所もあるが人当たりは悪くない、今時の学生。両親の長期海外出張が決まり、今年の春から実家で一人暮らしを始めた。特定の部活動に所属せず、様々なバイトに手を出しているが困った人をみると何とかして助けになろうと先々で首を突っ込んでしまい、それが原因でトラブルに巻き込まれることも。
ある日、タチの悪い不良たちに絡まれているアスカを見かけた際も、洸は状況を顧みずに突っ込んで行ってしまう。





「——重ねて言うわ。これ以上、立ち入るのは止めなさい。」

柊　明日香（ヒイラギ・アスカ）

17歳（CV:？？？）

洸のクラスメイトで委員長を務める、米国からの帰国子女。容姿端麗・成績優秀・運動神経抜群と三拍子そろったポテンシャルの高さを持つが、それらを鼻にかけない明るい性格で、クラス中から信頼を寄せている。
——しかし、それは表向きの演技でしかない。
どうやら、《ソウルデヴァイス》の技術を有する“ある組織”の命により、学園生活の裏で毎夜、“異界”に関わる事件を調べているようだが……。



都市神話型アクションRPGとは!? その一端を垣間見ることができるゲーム画面に注目!

すでに新作の開発が発表されている『イース』シリーズをはじめ、心地よいアクションでプレイヤーを魅了してくれる日本ファルコムのアクションRPG。『東京ザナドゥ』はどのような形で楽しませてくれるのか、スクリーンショットをチェックしていこう。







主人公の洸たちは、自身が暮らす《東京都杜宮市》に突如発生した並行世界《異界》を探索していく中で、様々な出来事と遭遇していくとのこと。身の丈を遥かに超えるモンスター《怪異（グリード）》が跋扈する《異界》で激しい戦闘を繰り広げているのが分かる。画面を見るに、メインキャラクターをひとり選択し、キャラ交代を駆使しながら攻略を進めていくのだろうか？　サポートメンバーの役割も気になるところだ。





こちらは洸たちが実際に暮らしている杜宮市内の様子。そば屋や道路標識、神社など、現代劇ということを強く意識させるガジェットが随所に見受けられる。そのほかにもゲームセンターや商店街、モノレールなど、様々な施設や交通機関があるとのことだ。

東京ザナドゥの世界をより理解するための5つのキーワードをチェック!

杜宮市

東京郊外・多摩地域にある人口４０万人の中核都市。　大規模な商業地区に加え、副都心的な官公庁・オフィス街もある他、昔ながらの街並みや歴史的な建物が保全されている地区も存在する。公共交通機関は杜宮駅に国鉄と私鉄の計３路線が乗り入れている他、　８年前から都営の新都市交通システム（モノレール）が　犀玉～多摩地域～神那川を縦断する形で運行されている。・また、市北西には国営施設である「杜宮記念公園」なども存在している。



サイフォン

10年ほど前から普及し始めた個人用情報端末で、　通話以外にも高度な情報サービスを利用することができる。また、ＳＮＳやゲームなど多彩なアプリが充実しており、かなりの割合で浸透している。所有者の生体情報を認証し、同期する機能を持っており、それを利用したサービスやセキュリティシステムなども続々と開発されている。



ソウルデヴァイス

異界と関わった“適格者”が発現させる特殊な兵装。形状は千差万別で、一つとして同じものは存在しない。異界由来の素材と霊子体によって構成されており、物理攻撃が殆ど効かないグリードに対して有効なダメージを与えられる。



怪異［グリード］

異界の迷宮内を徘徊する正体不明の敵性存在。種類・形状・サイズは様々だが、成長・生殖といった生命活動は確認されず、何らかの霊的な存在とも、何者かに造られた異次元生物とも言われている。銃・ナイフ・爆発物ではダメージを与えられないが、“適格者”が顕現させる異界素材で構成された“ソウルデヴァイス”では確実なダメージを与えられる。



異界化［イクリプス］

「門（ゲート）」と呼ばれる特異点を起点に、現実空間が異界と重なる現象。その特徴としては、異界の顕われ方が「迷宮」という形を取っていること、現実世界にある何らかの事物が「門（ゲート）」のきっかけになっていること、そして“グリード”と呼ばれる“怪異”が徘徊していることが挙げられる。多くの場合、一般人が異界化を認識することは出来ず、原因不明の事件や　不可思議な自然災害、あるいは都市伝説や怪談として処理されることが多い。



公式ホームページオープン記念！
PS Vita用カスタムテーマを無料配信中!!



みんな集まれ！ファルコム学園SC

ゴーファイ！はまだまだ終わらない！今回も続々とキャストコメントが到着!!

『白き魔女』のジュリオ&クリスや、『ZweiII』のギャランドゥなど、まさかまさかの登場でさらなる盛り上がる『ファル学SC』。今回もそんな豪華キャスト陣からのコメントを一挙掲載していくぞ！



TOKYOMX・サンテレビにて好評放送中



■作品情報

『みんな集まれ！ ファルコム学園SC』

【原案】	日本ファルコム株式会社
【原作】	新久保だいすけ（「月刊FALCOM MAGAZINE」連載中）
【製作】	株式会社キャラアニ、株式会社ダックスプロダクション
【放送予定】	TOKYOMX、サンテレビにて好評放送中 毎週日曜日22：27～22：30 AT-X、ニコニコ動画でも放送中 （放送時間は公式HPにて）
【脚本】	山下憲一（「ヒーローバンク」、「マジンボーン」他）
【監督】	ぴっぷや（「しばいぬ子さん」、「石田とあさくら」他）
【キャラクターデザイン・作画監督】	青葉みずき（「フォトカノ」、「押忍！番長シリーズ」他）
【公式HP】	http://www.fal-gaku.com
【コピーライト】	©Falcom ／ファルコム学園生徒会

シャーラ役 ▶ 折笠愛さん

■収録を終えた感想をお聞かせください。

本当に20年くらいぶりということで、「またこのキャラクターに出会えるとは！」と懐かしく感動しながら演じました！ スタジオでも話していたんですけど子安さんと一緒に収録する役が多かったのでこれもそうだったなぁと思い出しました。

■ご自身が演じるキャラクターの、こんな活躍が見てみたい、というものはありますか？

確かドラマCDで出た時は結構イチャイチャした感じのところもあったので、ちょっぴりお色気シーンがあったらやってみたいですね。

■楽しみにしているファンにメッセージをお願いします。

短い間の収録だったんですけど皆さんのセリフがとてもテンポよくて、いっぱい楽しさが詰まっているアニメだなと思いました。嫌なことがあった日も元気が出ちゃうようなアニメなので楽しみにして応援してください！

ミュラー・ヴァンダール役 ▶ 磯部弘さん

■収録を終えた感想をお聞かせください。

ミュラーといえばオリビエとの絡みなんですけど、ちょっとだけではありましたが相当変な面白みのある感じでできたので楽しかったです。もうちょっと長くやりたかったですね（笑）。

■ご自身が演じるキャラクターの、こんな活躍が見てみたい、というものはありますか？

立場的なところはクールにいなくてはいけないんですけど、人は多面性を持っていますのでね！ 弾けたミュラーをやって、逆にオリビエにドン引きされたいです。

■楽しみにしているファンにメッセージをお願いします。

お話はたくさんありますので、まだまだ続けていこうと思えば続きます！ その続きが見られるとしたら、ひとえにファンの皆様がテレビを見て応援してくださるということなので是非楽しんでください。楽しく弾けている番組なので気楽にご覧になってください！

アガット・クロスナー役 ▶ 近藤孝行さん

■収録を終えた感想をお聞かせください。

ひとまず出番があったことは安心しました（笑）。毎回ひと言にすべてをかける的な、世界観を楽しんでいる感じですね。いろんなシリーズのキャラクターがワイワイ出てきますし、楽しかったです。

■ご自身が演じるキャラクターの、こんな活躍が見てみたい、というものはありますか？

何でもありということで……とはいえ、変態キャラは揃っているんですよね！ ということで、普段はぶっきらぼうで結構キツいことも言っちゃうお兄さんなので、いつもと違う、気持ち悪いくら

アダリー役 ▶ 高橋未奈美さん

■収録を終えた感想をお聞かせください。

特に機体ということは意識せずに演じさせていただきました。すごくテンポが良く、キャラクターもみんな個性が強いので、うまく馴染んでいければなと思います。

■ご自身が演じるキャラクターの、こんな活躍が見てみたい、というものはありますか？

姿かたちが他のキャラクターとは違いますが、みなさんと普通に溶け込んだ、日常系のお話とかに出てみたいですね。

■楽しみにしているファンにメッセージをお願いします。

ファルコム学園に入学できてとってもうれしいです！ アダリーちゃんは機体ではありますが、中身は普通の女の子なので、ぜひ可愛がってください（笑）。これからもよろしくお願いします！

ランディ・オルランド役 ▶ 三木眞一郎さん

■収録を終えた感想をお聞かせください。

ランディとは付き合いが長いのですが、またこうしてゲームとは違うところでも彼と再会できて、とてもうれしいです。

■ご自身が演じるキャラクターの、こんな活躍が見てみたい、というものはありますか？

ランディは普通に居てくれればそれでいいです。彼自身はあまり活躍を望んでいるタイプではないと思うので、要所要所で彼が出てきてくれれば、それが一番うれしいかなと思います。

■楽しみにしているファンにメッセージをお願いします。

ゲーム発信でこういうことができる作品もなかなかないと思います。また、原作ファンのみなさんの期待も裏切らないものになっていますので、新しい形としてぜひぜひ色んな方に観ていただければと思います。

クリス役 ▶ 國府田マリ子さん

■収録を終えた感想をお聞かせください。

すごく楽しかったです！ 演じているとどんどん楽しくなっていっちゃって、監督に止められたりしました（笑）。

■ご自身が演じるキャラクターの、こんな活躍が見てみたい、というものはありますか？

緒方恵美ちゃんとのやりとりが楽しいので、もっとたくさんおがちゃん（緒方さん）と絡みたいです。2人で延々やりとりしたいです（笑）。

■楽しみにしているファンにメッセージをお願いします。

私もすごい楽しみなので一緒に観ましょう！皆さんからのファルコム学園SC公式サイトや公式Twitterまで感想お待ちしてます！

い優しい穏やかなアガットですね。劇中では絶対ないので。逆にみんなが怖がっちゃうくらい優しいお兄さんになりたいです。

■楽しみにしているファンにメッセージをお願いします。
ようやくアガットとグラッツが出てまいりました！この作品ではこんな感じですけど、興味を持たれた方は『空の軌跡FC Evolution』もプレイしていただいて、またこちらの作品でギャップを楽しんでいただければと思います。よろしくお願いします！

アリアンロード役 ▶ 久川綾さん

■収録を終えた感想をお聞かせください。
クールで強い彼女じゃなくて、まったく違うアリアンロードでした（笑）。ゲームやドラマCDとは違い、アニメを収録する際はキャラの口の動きに合わせて演じるので緊張するんですけど、今回はあまり緊張することもなくフランクに演じることができました。

■ご自身が演じるキャラクターの、こんな活躍が見てみたい、というものはありますか？
本編の真面目なキャラクターを演じた後に、こういうくだけたキャラクターを演じると、ある種のストレス解消みたいなところがあるんですね（笑）。ですので、次はまた、真面目なキャラクターとして登場してみたいですね。

■楽しみにしているファンにメッセージをお願いします。
初めてアニメに登場するということで、私も楽しみにしてたんですけど、意外な姿のアリアンロードでした。ぜひ皆様「ジャージ」を着た彼女を楽しみに待っていてください！

レーヴェ役 ▶ 緑川光さん

■収録を終えた感想をお聞かせください。
出なくても成り立つようなポジションなのに出させていただけて光栄です（笑）。とにかく最初から見ている方なら「おおっ」と思っていただけるところを、いきなり途中から参加したので「どうなんだ!?」と……でも、そういうところが魅力のアニメですね。

■ご自身が演じるキャラクターの、こんな活躍が見てみたい、というものはありますか？
今回でなんとなくタッチは掴めたので、ワケがわからなくていいのならまた呼んでいただけるだけでうれしいです。

■楽しみにしているファンにメッセージをお願いします。
とても長いシリーズになっているのですが、このアニメを見てこんなキャラもいるんだ、と新たに知ることもあるかと思います。そうなったらぜひ、そのキャラが出ているゲームもプレイしていただけるとうれしいです。

トヴァル・ランドナー役 ▶ 杉田智和さん

■収録を終えた感想をお聞かせください。
日本ファルコムの作品全体をここまで崩して許されるんだ、と驚きました。そこにトヴァルとして混ぜれたのがうれしかったです。

■ご自身が演じるキャラクターの、こんな活躍が見てみたい、というものはありますか？
セルナートさんがジャンク屋のパーツで巨大ロボを作って襲ってくるっていう……無理ですかね？

■楽しみにしているファンにメッセージをお願いします。
テンポよく短い時間で楽しめる作品なので、お風呂のお湯が沸く間、寝る前や朝起きた時など生活に馴染ませていくことができると思います。皆様の生活のどこに『ファルコム学園』を取り入れていくのか、ご応募はこちらの宛先まで！よろしくお願いします！

アイン・セルナート役 ▶ 中友子さん

■収録を終えた感想をお聞かせください。
2010年にドラマCDで演じた時は、久しぶりにかっこいい役をやらせていただいてありがとうございます、という感じだったんですが、今回はアニメにも呼んでいただけて、本当にうれしいです。すごくたくさんのキャラクターがいるわけじゃないですか。その中から選んでいただけて、見てみたら「あれ？この人面白いぞ！」と（笑）。いつもとちょっと違くて、そこが新鮮で楽しかったです。

■ご自身が演じるキャラクターの、こんな活躍が見てみたい、というものはありますか？
強くてかっこよくて素敵なセルナートは大好きなんですけど、今回みたいに崩していいのなら思いっきり崩してしまいたいなと。飲んだくれてベロンベロンになってトヴァルに絡んじゃったりして、そういうところが見てみたいですね（笑）。

■楽しみにしているファンにメッセージをお願いします。
久しぶりにトヴァルと演じることができて……正しい関係性と言えるのかわからないんですけど、そこがまたちょっと面白いです！あとは皆様が普段と違う顔をたくさん見せていらっしゃるのでそこも注目していただければうれしいです。ギュっと凝縮されておりますので、楽しみにしていてください！

ラウラ・S・アルゼイド役 ▶ 伊瀬茉莉也さん

■収録を終えた感想をお聞かせください。
今まではゲームやドラマCDで演じさせていただいていたラウラですが、その時は絵がないので、自分の想像の中でラウラを動かしながら演じていたんですね。ですが今回はTVアニメということで、動くキャラクター達を見ながらアフレコがすることができたので、より彼らの日常が見えて楽しかったです。

■ご自身が演じるキャラクターの、こんな活躍が見てみたい、というものはありますか？
今までずっと強い女性として描かれているので、ラウラの女の子らしい日常が見たいです。ショッピングに行って女の子の友達とガールズトークをしたりとか（笑）。なかなか想像つかないので、ぜひ見てみたいですね。

■楽しみにしているファンにメッセージをお願いします。
またこうしてラウラを演じることができてうれしいです。引き続き『ファルコム学園』を応援していただけたらと思います。すごくドタバタでみんなの思いが1分半に凝縮されていると思いますので、ぜひ楽しんでください！

ギリアス・オズボーン役 ▶ 中田譲治さん

■収録を終えた感想をお聞かせください。
個人的には復活できたのでうれしいのですが、形状が！今まで他のキャラクターと接することが少なかったので、今回は「こんなキャラもいるんだ！」と楽しませていただきました。

■ご自身が演じるキャラクターの、こんな活躍が見てみたい、というものはありますか？
こうなったらとことん進化して中にレクターが乗れるようなロボに……バージョンアップしていきたいですね！もっと活躍して世界を征服していきたいです。

■楽しみにしているファンにメッセージをお願いします。
プレイしている方はわかると思いますが、オズボーンはこんなキャラじゃありませんよ！（笑）　本当に色んなキャラが出てきていて、今までの軌跡シリーズやファルコム作品の集大成になっているので、この世界での彼らを楽しんでください。アフレコもあっという間でしたので、皆様も集中して、パッと見ていただければうれしいです。

レクター・アランドール役 ▶ 森田成一さん

■収録を終えた感想をお聞かせください。
前後の脈絡なく始まって最初は何が起こってるんだろう、ってびっくりしました（笑）。オズボーンが貧相なロボットになってますし！この短い時間の中で色んなものを詰め込んでいて面白いですね。レクターは原作ゲームの時もおちゃらけたシーンがあったので、許容範囲というか、結構普通だなと思いました。

■ご自身が演じるキャラクターの、こんな活躍が見てみたい、というものはありますか？
何でもありということで、コンビニの店長をやってほしいですね！他のキャラが店員だったりお客さんだったり、コンビニでの悲喜こもごもがあって、最終的には爆破されるような……売っている物も「鉄血ドリンク」など、そういうのが見たいです。

■楽しみにしているファンにメッセージをお願いします。
最終回にして初登場なので、もうこれは続編に期待です。次でコンビニの店長という夢が叶うのか、それとももっとすごい世界観をお見せできるのかわかりませんが、SCを最後までご覧いただいて、このはっちゃけたアニメを楽しんでください。いつかは劇場版ができるといいですね！よろしくお願いします！

ドラゴンスレイヤー役 ▶ 金子英彦さん

■収録を終えた感想をお聞かせください。
ドラゴンスレイヤーは1期の時に初めて演じさせていただいたキャラでしたので、今回もスタッフの方とシチュエーションに応じて調整しつつ、再びやらせていただきました。ヨアヒムは『零え ぼ』、そしてファルコムラジオ以来となりますので、かなり久しぶりに演じさせていただきましたね。最初は『ファル学』の世界に負けないよう、ヨアヒムのイメージを強めに作ってきたのですが、そんなに出さなくていいですよと言われてしまいました。この世界観ならそれもそうだなと（笑）。

■ご自身が演じるキャラクターの、こんな活躍が見てみたい、というものはありますか？
まずはドラゴンスレイヤー……というか、この作品だとこのキャラが僕のメインなんですよね（笑）。ドラゴンスレイヤーは見た目もアナログで美味しいし、ツッコミどころも満載なので、また美味しい場面で登場させてもらえればと思います。ヨアヒムはお医者さんなので、何かといろんなキャラクターと絡みやすいかなと思いますので、やっぱり「お薬関係」ですかね。そしてクルツですが、1期では本当に少しだけの登場でしたので、次はもっとクルツさんの魅力を伝えられればと思います。代名詞?の「アレ」に乗ったり。なんなら「アレ」そのものになって声をつけてもいいです（笑）。

■楽しみにしているファンにメッセージをお願いします。
2期でも引き続き呼んでいただき、とてもうれしいです。これもひとえに、原作ゲーム、そして「ファルコム学園」を応援していただいている皆さまのおかげとしか言いようがありません。今後ともファルコムのキャラクターたちを応援していただければと思います。

放送直前！第9話先行カットを独自入手！

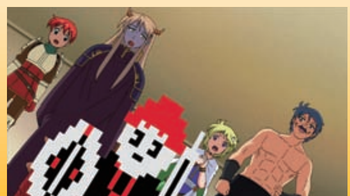


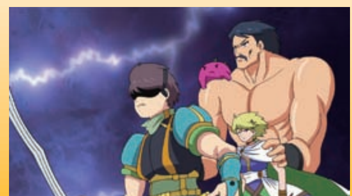
この部屋の先には一体何が……

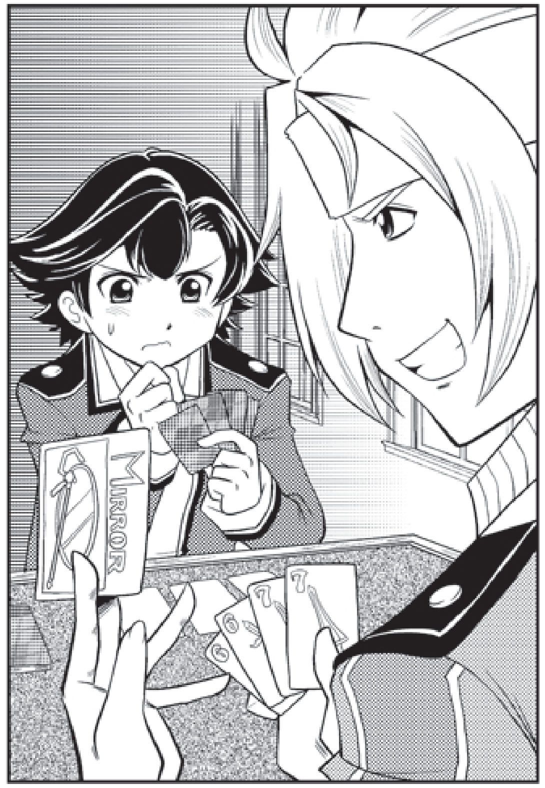


変態が変態を恐れている……!?


可愛いポチに喜ぶティオだが……？


足音が特徴的なあの勇者の姿も！


これは伝説のあの家族たち!!



みんな集まれ!
ファルコム学園

新久保だいすけ

カジノと警察



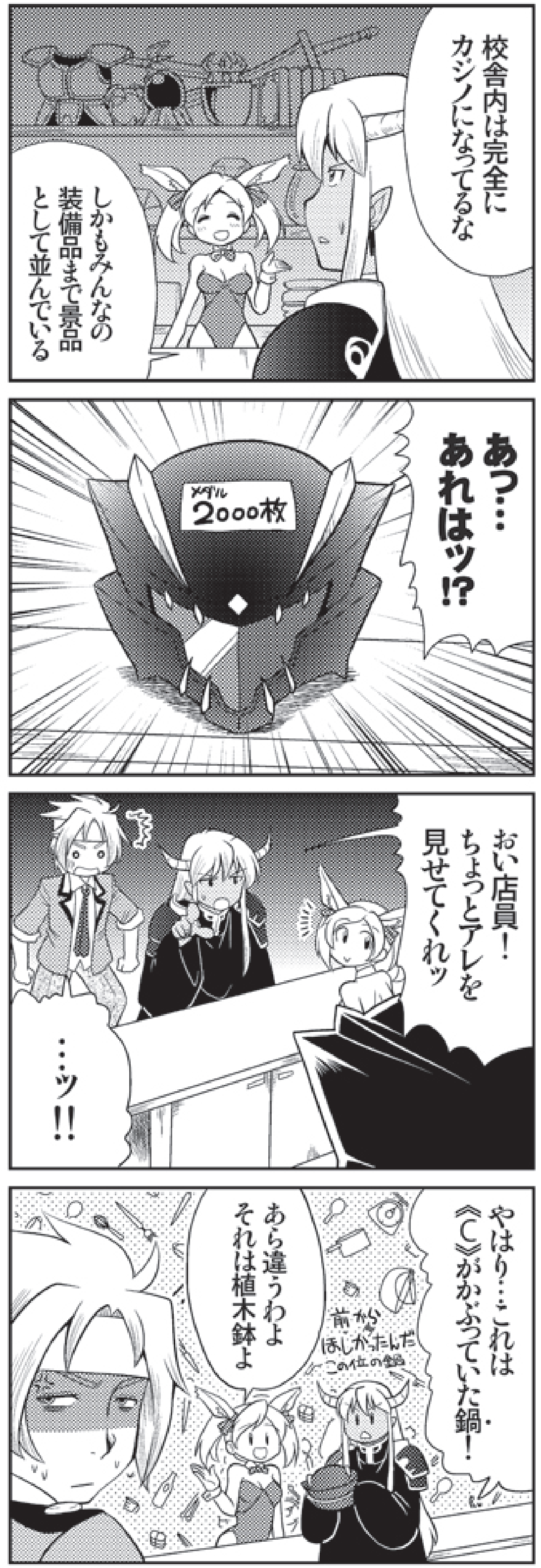
交渉する魔物



ブレードの男



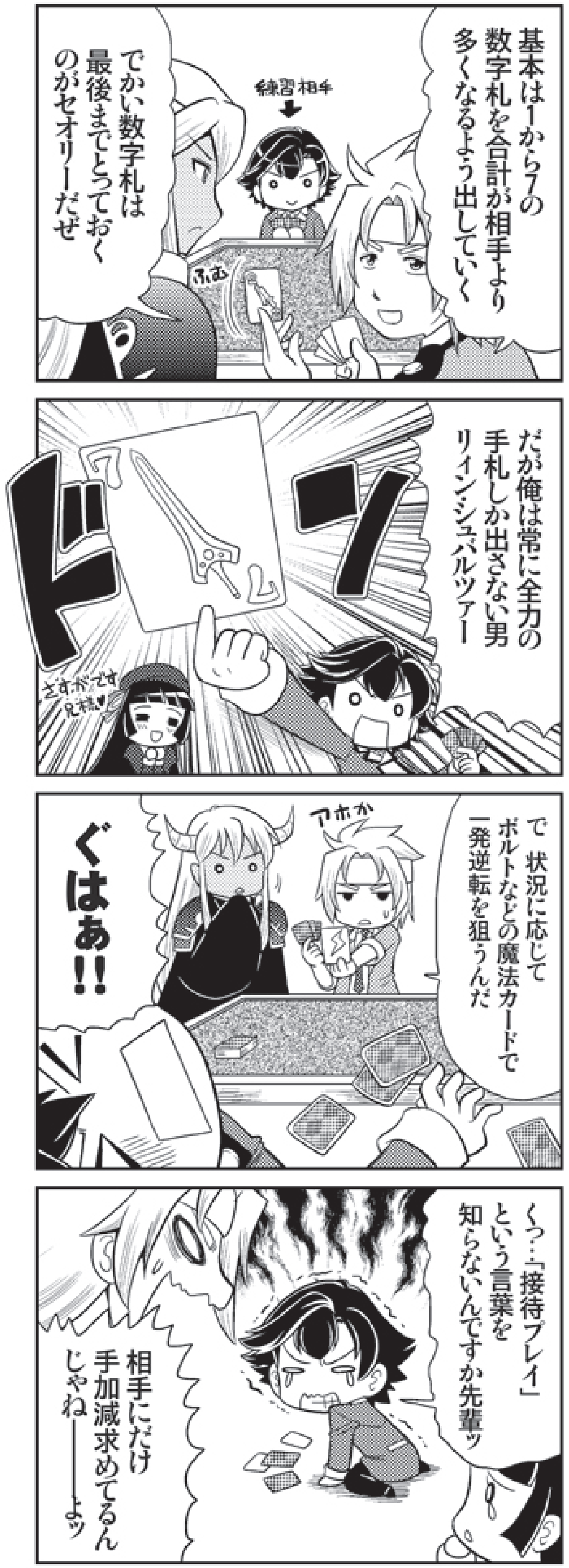
そんな風に見られてた



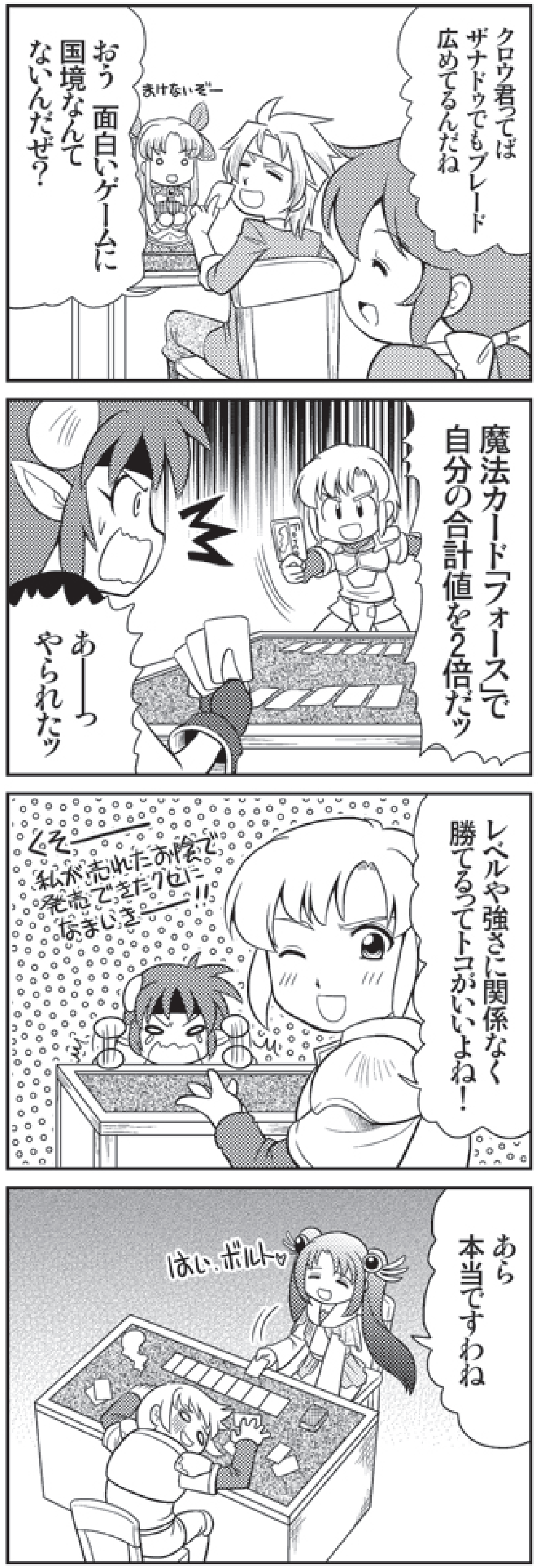
ハメられる魔物



セオリーと接待



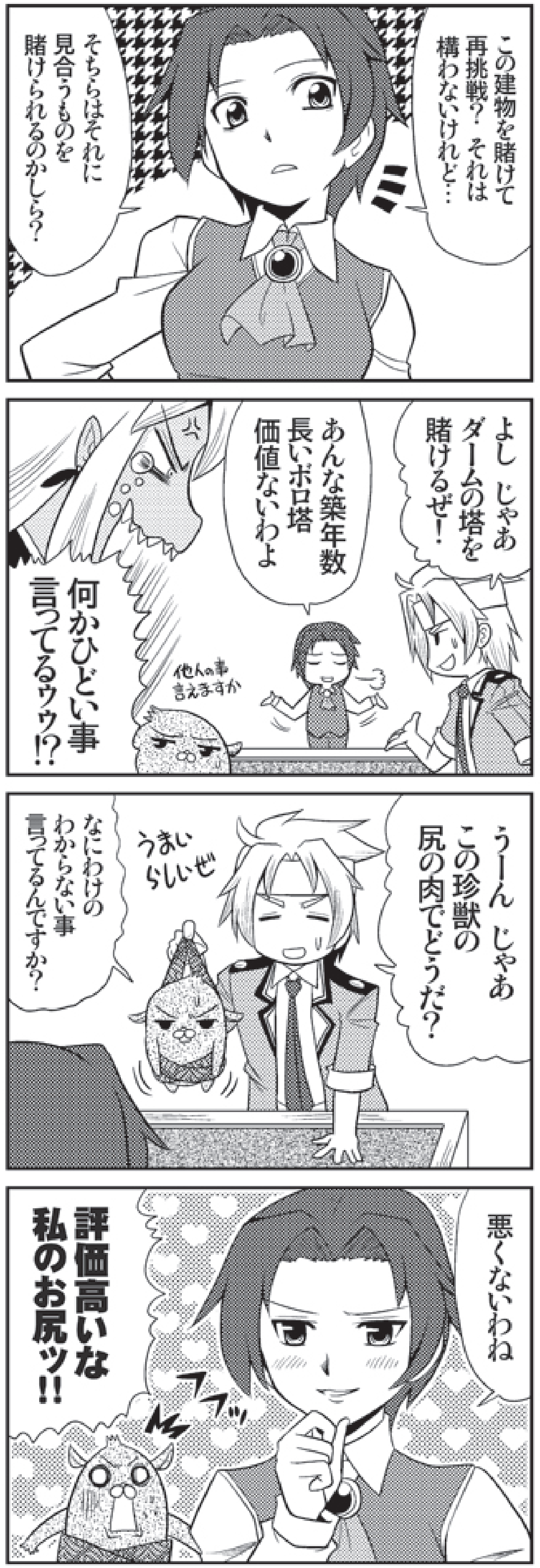
ブレードの強さ



ブレード必勝法



価値あるもの



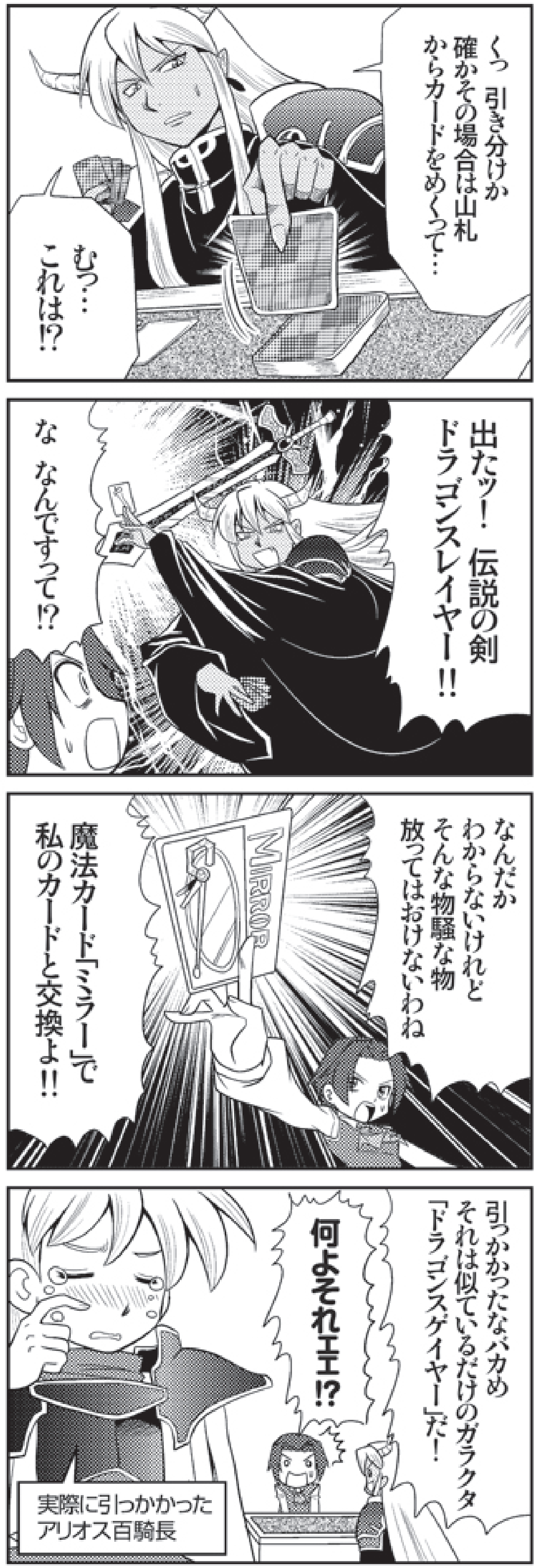
名剣たち



生還者の助言



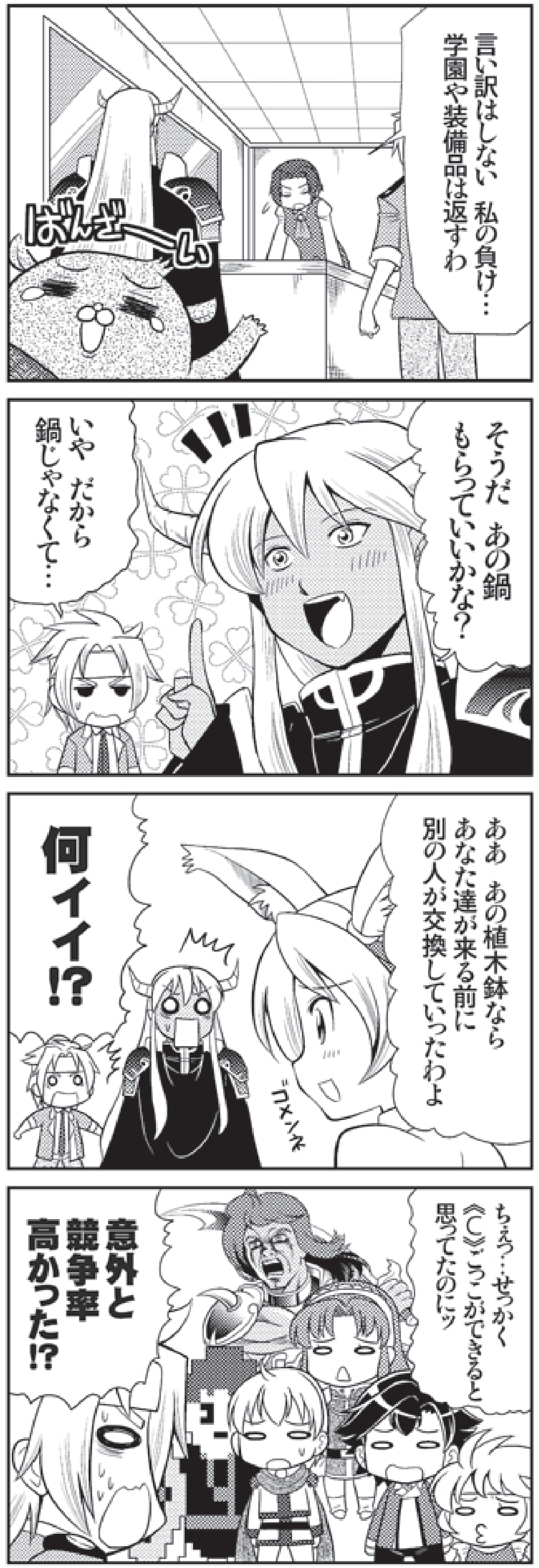
ただ一枚に賭けた勝機



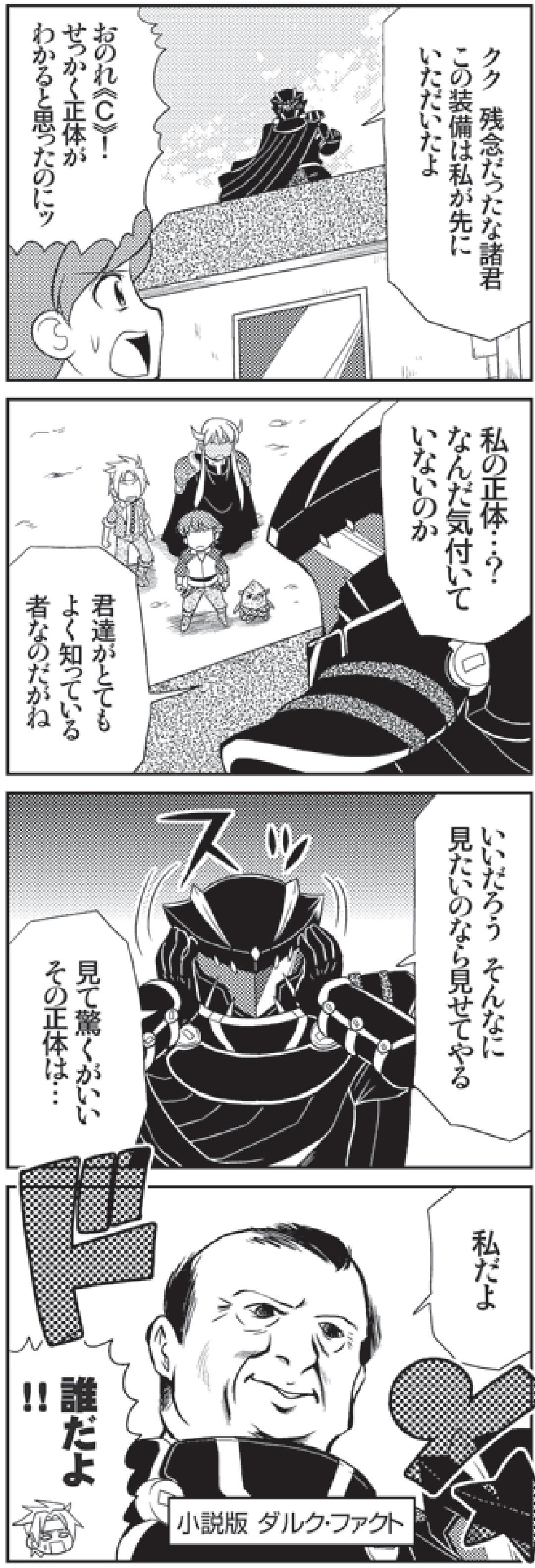
狂気の剣



人気商品



《C》の正体!!




アニメのアフレコを見学するために朝早い新幹線でやってきましたの巻
A久保Dすけ
某月某日
東京某所
皆さん お久しぶり ソーサリアンのウィザードです！
今日は「みんな集まれ！ファルコム学園SC」の収録を見学に来ました！
ここがあの有名なタバックかァ
今日はずいぶんリラックスしてますねー
フ…ここ一年ラジオやトークショーなどで場数を踏んだからな！
ほう では些細な事でガクブルしてたヘタレなA久保Dすけはもう存在しないと!?
本日の収録予定


本日の収録
七つの玉をあつめて龍を呼び出す国民的アニメ
海賊の王様を目指す国民的アニメ
ゴーファイ!
ガクガクガクガ
メッキ剥がれるの早ッ!?
落下とあれば全力で胸に顔を埋める男リィン・シュバルツァー!
おっぱい! おっぱい!!
ひ久しぶりの共演なのにあんまりですぅぅ…
今回は「閃の軌跡」をはじめ更なる新キャラが大参戦!
みんな集まれ! ファルコム学園 台本
前回以上にたくさんの役者さんが参加されてますねぇ
すごーい
ほぼもれなくキャラ崩壊してるのが申し訳ないこの上ないけどね…
リィンいいなー 僕ももっとキャラ崩壊したいなー
むしろ更なるイメージ悪化を要求してきた!?


今回もレポート漫画描くんでしょ? 資料のために収録ブース入ってみますか
えっ いいんですか!?
記念写真もとりましょー☆
音響カントクさん
音
おお…このマイクの前にさっきまで役者さんが!
あの すみません この機材って一体どういう…
がっちゃん。
!?
音
さぁ それじゃ今から新久保先生のセリフ収録をはじめまーす!
だましてないですよー ファル学3巻の帯でカントクが言ってたでしょ
ファルコム学園③
ファル学2期やる時はぜひ本人役で出演して下さい カントクより
ただのリップサービスと思うでしょ普通――ッ!!
恥ずかしいなら私が横にいてあげますよ～
お母さんかッ
音
なんなの君達! 僕をだまさなきゃ死んじゃう病気なの!?





★油断してるとマジ見逃すから要注意だぞ!

●製品情報
■タイトル：英雄伝説 空の軌跡 FC Evolution
■発売日：2015年発売予定
■ジャンル：ストーリー RPG
■対応機種：PlayStation®Vita
■プレイ人数：1人
■小売価格：通常版(PS Vita) 未定
■発売：角川ゲームス
■企画・監修：キャラアニ、日本ファルコム
■CEROレーティング：審査予定
■コピーライト：

序章に登場するキャラクターの追加イラストと待望の体験版の情報が到着!!

毎号続々と新情報が到着する『英雄伝説 空の軌跡 FC Evolution』だが、今回はエステルたちが序章で出会っていくキャラクターたちのリファインされたイラストと、体験版の情報が到着したぞ。

■ カシウス・ブライト

CV：岸野幸正

エステルの実父で、ヨシュアを5年前ブライト家に連れてきた人物。遊撃士にも関わらずいつもぐうたらで、エステルからはよく呆れ顔で叱られている。だが、シェラザードからは「先生」と呼ばれるなど、周りの人物からの評価はとても高い。







■ ジョゼット・ハール

CV：庄司宇芽香

ルーアン市にあるジェニス王立学園に通うお嬢様。あることが目的でロレントにやってきた。エステルはその楚々とした佇まいに憧れるが、ヨシュアは何か違和感を覚える。それもそのはず、彼女の正体は……。





■ ナイアル・バーンズ

CV：藤原啓治

リベール王国で活動する出版社「リベール通信社」で働く記者。美味しい記事のネタを求めて国内を巡り歩いている。後輩のカメラマンであるドロシーとコンビを組むことが多く、気苦労が絶えない。





■ ドロシー・ハイアット

CV：新井里美

リベール通信社に入ったばかりの新人カメラマン。天然ボケで自由奔放、自分のカメラに「ポチ君」と名づけ、感性のままに写真を撮り続ける。だがその写真は天才的で、ナイアルもその腕だけは認めている。





■ アルバ教授

CV：田中秀幸

エステルとヨシュアが依頼の中で出会う人物。考古学を専攻していて、各地にある遺跡の調査などを行っている。気弱な性格で、すぐにペコペコと謝るわりには、自身の研究に関しては頑なな姿も見せる。





■ アイナ

CV：鹿野優以

遊撃士協会ロレント支部の受付を担当する女性。シェラザードとは自他共に認める親友で、酒癖の悪いシェラザードに対抗することができる数少ない人物でもある。



TOPIC

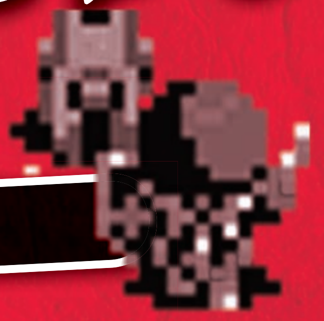
体験版の配信が決定!!

3月下旬にPlayStation®Storeでの体験版の配信が決定した。序章がまるごと楽しめるので、『Evolution』（進化）を存分に感じることができるはずだ！

※開発状況により配信開始日は変更になる場合がございます。

英雄伝説
空の軌跡FC Evolution
公式ホームページ
http://www.sora-evo-fc.com/

人生半キャラずらし



**jdkバンドのドラマー・オカジが
ファルコムと音楽と人生について熱く語ります！**

「ライブに向けて準備中！」



来月末はjdkバンド、久々のライブだ。実際、そろそろセットリストを組み立てなければいけない、悩み多き時期である。なにしろ、演奏する曲数も多いし、楽曲の難易度も各パート共、みんな相当高めなので、できるだけ早く音源やら譜面などを手配し、メンバーがそれぞれ準備できる期間をできるだけ長く設けられるように心がけねばならない……といいつつも結局、選曲がリハーサル開始ギリギリになってしまい、メンバーの冷ややかな視線が痛かったりする事も多いのではあるが……ハイ、今回はそうならないように気をつけます（汗）。

僕自身、立て続けに入っていた制作仕事とお正月休みなどの余波（要するに家から出ていない）により、筋力、体力ともに衰え、体重も無駄に増えまくっている始末なので、一週間ほど前から、対jdkバンド対策としてトレーニングを開始した次第である。大体、いつも20曲前後のセットリストではあるのだが、名物のインストラッシュなどの事を考えると、体のコンディションは万全にしておきたいところだ。jdkバンドのリハーサルはいつもかなりスパルタで体育会系な進行となるので、セットリスト全曲を一日で二回以上演奏することもザラだ。しかも、当日のサウンドチェックの際にもライブ丸々一本ぶんを、通しでランスルーしたりもするわけで、油断していると、本番にはヘトヘトという最悪の事態を招きかねない。そんなわけなので、今回はトレーニングによる全身筋肉痛の痛みに耐えながらこの原稿を書いているというわけです、ハイ。……体痛いよう。



しかし、今回のライブ、「軌跡10周年記念ライブ」と銘打っているだけに、セットリストにどの曲を組み込むのかが非常に難しいところである。何しろ、これだけ歴史のあるシリーズな上に、各作品の楽曲数も多く、さらには名曲揃いなのだ。しかも、だからと言って軌跡の楽曲のみを選ぶというわけにもいかない。だってYsのあの曲だって演りたいし、今やファル学のアニメ主題歌として君臨している「GO FIGHT!」だって元はといえば、スタートレーダーの曲じゃないか！　もはや色々とゲシュタルト崩壊している気もしないではないが（笑）。

そこで、今回、僕としては当然ながら軌跡シリーズの名曲を中心にしつつも、定番楽曲や懐かしのあの名曲までをなんとかひとつのライブの中に盛り込もうと試行錯誤しているところだ。個人的にはブランディッシュやらソーサリアンやらぽっぷるメイルなんかまで組み込みたい所ではあるが、どう考えても入る余地がないような気もしている……いや演りたいけど。

そしてまた、フィールド系の楽曲や街の曲なども当然入れ込んでいきたいのだけれども、これまたどの程度盛り込むのかというポイントも難しい。実際、フィールドや街、ダンジョンのBGMはゲームをプレイしている中でかなりの時間を聴き続けるわけなので、ユーザーにとっては、これらの音楽達がゲームの印象と紐づいている事も多いのだ。ライブではどうしても盛り上がりには欠けると思われ軽視されがちなのだが、こういった楽曲を良いバランスで組み込むことで、ゲームの世界を音で感じられるような感動的なライブ体験をお届けできるのではないか？と思っている。



さてさて、なんだかダラダラと書いてきたわけだが、結局のところ、具体的にどの楽曲をセットリストに入れ込んでいくのか？という命題の答えは未だ出ていないわけである。

どうせならできるだけ多くのユーザーの皆様に楽しんでもらえる最高のライブをお届けしたいので、なかなか簡単に選曲ができないというのも事実なのである。なんだか言い訳っぽいけど、そうなのである。いや、本当に。

もし、このコラムの読者の皆様が「どうしてもこの曲を聴きたい！」というリクエストがあればなんなりと僕のツイッターの方にリプを飛ばして頂きたい。ひょっとしたら、採用されて、ライブで聴けちゃったりするかもしれませんぜ？（なにこのキャラ）

そんなわけで3月28日のjdkバンドライブをお楽しみに！　それではまたお会いしましょう！

《Falcom jdkバンドライブ特設サイトURL》

http://www.falcom.co.jp/jdk/fa_live.html



2011年10月から好評配信中のWEBラジオ『ティオのファルコムラジオめんどくさいです…でもがんばります』の舞台裏をこっそりお届け♪

ティオのファルコムラジオめんどくさいです…でもがんばります
■**配信日**　毎週金曜日、公式HP、ランティスラジオ、ニコニコ動画にて更新。
■**メインパーソナリティ**　水橋かおり（『碧の軌跡』ティオ・プラトー役）　小寺可南子（『ファルコムjdkバンド』ボーカル）
■**公式ホームページ**　http://www.falcom-radio.com/

第169回-第171回　新久保だいすけ（『みんな集まれ！ファルコム学園』原作者）

169-171回は満を持して（？）、本誌で『みんな集まれ！ファルコム学園』を連載中の新久保だいすけ先生がゲストとして登場。イレギュラーな回には恒例の、小寺さんへのドッキリから収録がスタートし、アニメ『ファル学SC』についてのトークはもちろんのこと、ファルコムファンの新久保先生による、濃厚な音楽、作品に対する愛が終始語られることとなった。また、「特務しれん課」のコーナーでは、新久保先生念願のしおりんのお料理フルコースがふるまわれ、その料理のガチっぷりを全身で体感することとなった。

▶第169回-第171回の舞台裏◀

兼ねてよりラジオのゲストに！　と言われ続けてきた新久保先生。アニメの第２期が放送される「ここしかない！」ということで、今回ようやくの初参加となった。あわよくば、アニメの収録にも立会いを……と目論んでいたものの、この時はそちらには参加できず。残念！

第172回　なし（おたよりスペシャル）

第172回は、前回のゲストなし回に引き続き、おたよりスペシャルということに。電話帳かと見紛うばかりにたくさん届いているおたよりを、少しでも多く読んでいこうという気合いのもと、時間いっぱいおたよりが紹介されていくこととなった。また、トークコーナーでは、アニメ『ファル学SC』からキャストコメントが久しぶりに到着。1期同様、はじけまくりの姿を見せるオリビエ役の子安武人さんと、今回意外な形で初登場を果たす《C》役の櫻井孝宏さんのおふたりに、この作品に対する想いを語っていただいた。

▶第172回の舞台裏◀

アニメの放送にあわせ、本誌でも掲載している『ファル学SC』キャストコメント。取材自体は同じ日に行っているものの、質問内容は若干変わっているので、それぞれを見比べてみると、また違ったおもしろさを発見できるかもしれないので、ぜひ試してみてほしい。







今月のコテガキ

毎週更新とともに発表される、小寺さん直筆の「コテガキ」を少しだけご紹介！

コテ放題

コテカナことjdkBANDボーカル小寺可南子がゲームと共に、好き放題な日々のことを描くコラム!!

第26回　いよいよ閃Ⅱ本格始動！

▶PROFILE



日本ファルコムのゲームソングを奏でる専属バンド"jdkBAND"のボーカル。webラジオ「ファルコムラジオ"めんどくさいです…でもがんばります"」では声優水橋かおりさんと共にパーソナリティをつとめる。その他CMソング、ジングルなど活動は多岐に渡る。
twitter @cana_ko_tera

まいどドウモみなさま！　三寒四温が続いてますが、元気に閃Ⅱプレイしてますコテカナです！　前回、ゲームをある程度すめたとこで、私が歌唱を担当してる主題歌「閃光の行方」が流れ、あまりの不意打ちに『うぉー！　ここでかかっちゃうのかー！』と感激したんですが、今回はついに！　離れ離れだったⅦ組メンバーの一部と再会できて、これまた感動しちゃいました～!!　残りのメンバーを探す日々はまだまだ続きますが、現実世界は早いもので３月！　ということは、ファルコムjdkBANDライブまで１ヶ月きってる！　ゲームをすすめつつ、ライブの準備も頑張ってますよー！　ぜひ３月28日（日）は日本橋三井ホールへお越しください☆　お待ちしておりまーす！







コテさんが今回はレポを……！　あとは締切を守っていただければ……


FB ファルコムBOOKS
これを読むまで
しぬでないぞ!!
『月刊 Falcom magazine』に掲載された読み切りコミック 13 本を完全収録したコミックアンソロジーがついに登場！　新旧ファンも納得のラインナップで贈る、ファルコム愛溢れる1冊を是非ご堪能あれ！
カバーは『英雄伝説空の軌跡』コミカライズを担当した啄木鳥しんき先生の豪華描き下ろし♪
好評発売中!!
ふぁるこむコミックざんまい
収録テーマ作品
『イース』
『ブランディッシュ』
『ヴァンテージマスター』
『ぐるみん』
『ザナドゥネクスト』
『軌跡シリーズ』
価格：本体920円+税
ISBN 978-4-89610-818-7
©Nihon Falcom Corp. All right reserved.
発行：フィールドワイ
発売：メディアパル
フィールドワイのHPはこちら
www.field-y.co.jp


創業者の加藤が
「いつまでもうちだけが、このままだと思うなよ」
と言ったのを覚えています。 ——近藤季洋
FB ファルコムBOOKS
Falcom Long Interview ファルコムロングインタビュー
近藤 季洋 Kondo Toshihiro
橘 正紀 Tachibana Masaki
上江洲誠 Uezu Makoto
小寺可南子 Kotera Kanako
日本ファルコムの真髄が今、ここで語られる！
『月刊Falcom magazine』誌上に掲載されたロングインタビューを完全収録。社長・近藤季洋や日本ファルコムのゲームミュージックを演奏するjdkバンドのボーカル・小寺可南子など、ここでしか読めないファルコムの『今』が満載！
●日本ファルコム代表取締役社長：近藤季洋
●OVA版『英雄伝説 空の軌跡』アニメーション監督・演出家：橘正紀
●OVA版『英雄伝説 空の軌跡』脚本家：上江洲誠
●ファルコムjdkバンド ボーカル：小寺可南子　ほか
日本ファルコムの『今』と『これから』がこの1冊に！
Falcom Long Interview
ファルコムロングインタビュー
全国書店にて大好評発売中!!
価格：1,155円(税込)
ISBN:978-4-89610-232-1
©Nihon Falcom Corp. All right reserved.
発行：フィールドワイ
発売：メディアパル
フィールドワイのHPはこちら
www.field-y.co.jp

▶ファルコムニュース◀

ファルコムファンに贈る最新ニュースをピックアップ！

『英雄伝説 閃の軌跡』DLC期間限定半額キャンペーン

欲しかったアイテムをゲットしよう!

『英雄伝説 閃の軌跡 the best』の発売を記念して、『閃の軌跡』のDLCコンテンツが期間限定半額でお求めいただけるキャンペーンを開催！

Ⅶ組メンバーの個性溢れる私服セットやプレイがより楽しくなるアタッチアイテムなど、この機会に欲しかったアイテムを揃えてみるのはいかが？ 3月5日 ～ 3月18日まで。（※アタッチアイテムとARCUSカバーは一部対象外のものもございます）





英雄伝説 閃の軌跡 the Best版発売

重厚な物語をお手頃価格で!

日本ゲーム大賞2013《フューチャー部門賞》など数々の賞を受賞した『英雄伝説 閃の軌跡』がお手軽価格のBest版になってついに登場！ クリア後もセーブデータの共有で『英雄伝説 閃の軌跡Ⅱ』へとデータを引き継げるだけではなく、便利なボーナスアイテムが入手可能になるなど『閃』の世界をより深く楽しむことができる。PlayStation®3版、PlayStation®Vita版どちらも3月5日発売。各3,672円（税込）。



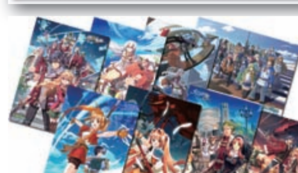


軌跡10周年記念切手セット

君の軌跡を手紙に託して!

「軌跡シリーズ」の生誕10周年を記念した切手セットが発売決定！ 歴代人気キャラの美麗なイラストを使用した切手シートとクリアファイル、オリジナルポストカードというファンには見逃せないお得なセットとなっている。取り扱いは通販サイト『ファルコム オンラインショップ』限定、予約期間は2月28日までなので気になったら即チェックだ！ 発売は3月27日。2,500円（税込）。





コミケットスペシャル6 出展情報



Falcom Character Songs Collection Vol.2
オリビエ・レンハイム（CV:子安武人）
¥1,500

【収録曲】
01.琥珀の愛
02.Go Fight! ～愛と真心を君たちに～
03.琥珀の愛（Off Vocal ver.）
04.Go Fight! ～愛と真心を君たちに～（Off Vocal ver.）

毎回様々なテーマと企画で盛り上がるスペシャルイベント『コミケットスペシャル』に、日本ファルコムが新作グッズをたっぷり用意して参戦決定！ お馴染みマスコットキャラ・みっしぃがキュートに描かれた新生活応援セットや『英雄伝説 閃の軌跡Ⅱ』ゲーム内でも実際にアイテムとして登場した「ユミル温泉まんじゅう」など、楽しいグッズを会場でいち早く手に入れよう！

■出展情報

開催日： 2015年3月28日（土）～29日（日）
11：00～16：00
会場： 千葉 幕張メッセ展示ホール1～5ホール
企業エリア No.445「日本ファルコムブース」
※入場には開催日毎にカタログの購入が必要となります



【セット内容】
みっしぃネックストラップ＋カードホルダー
みっしぃ名刺ケース みっしぃランチトート
みっしぃミニノート

みっしぃ新生活応援セット
¥4,000



英雄伝説 閃の軌跡 ラバーストラップ
コミケットスペシャル限定セット
¥3,000

ファルコムニュースで紹介した『軌跡10周年記念切手セット』はコミケットスペシャル6のブースでも発売!
数量限定なのでお早めに!



速報!! 『拡散性ミリオンアーサー×英雄伝説 閃の軌跡Ⅱ』コラボイベント開催決定!!

昨年発売された『軌跡』シリーズ最新作『閃の軌跡Ⅱ』と、PS VITA『拡散性ミリオンアーサー』（スクウェア・エニックス）のコラボイベントの開催が緊急決定した！　コラボイベントはまもなく開催されるので、今すぐチェックしよう!!



『拡散性ミリオンアーサー』とは？

『拡散性ミリオンアーサー』とはスクウェア･エニックスよりリリースされているオンラインカードバトルRPG。100万人のアーサー王がいる世界で、プレイヤーもまたアーサーとなり、様々なバトルを繰り広げていくストーリーとなっているぞ。

イベント開催期間 3/12（木）～3/18（水）

イベント内容

◉閃の軌跡コラボガチャ

『閃の軌跡』コラボガチャが設置され、コラボカードのほか、アリサのコスプレをした描き下ろしの『軌跡型アーサー -技巧の場-』も用意されているとのことだ。設置期間：3/11（水）～3/23（月）





◉コラボカード無料配布

『ミリオンアーサー』のゲーム内で使用することができるコラボ記念カード『軌跡型リィン』を1枚、ストアから無料配布されるぞ。配布期間：3/12（木）～4/13（月）



◉『閃の軌跡Ⅱ』DLCアイテムプレゼント

コラボイベント開催期間中に『拡散性ミリオンアーサー』をプレイすると、『閃の軌跡Ⅱ』で使用することができるアイテム『リィンの「人には言えない」衣装』をプレゼント！　『ミリオンアーサー』のコラボイベント告知ページにプロダクトコードが表示されるので、そのコードをPlayStation®Store内で使用することで、ゲットすることができるぞ！　期間中に『ミリオンアーサー』のチュートリアルをクリアしていないともらえないので要注意！　コード表示・入力有効期間：3/12（木）～3/18（水）

PS VITA『拡散性ミリオンアーサー』公式ホームページ
http://www.jp.square-enix.com/ma_vita/

●製品情報
■タイトル　：拡散性ミリオンアーサー
■ジャンル　：オンラインカードバトルRPG
■プレイ人数　：1人
■対応機種　：PlayStation®Vita
■価格　：アイテム課金型（基本プレイ無料）
■CERO表記　：D（17歳以上対象）


そして今朝の領邦軍の喧嘩の対応の早さ…
領邦軍が犯人となんらかの関わりを持っていて 管理員を交代させたとしたら……？
自然公園か…盲点だったな
木箱を運んでいた…ってあからさまに怪しいわよね～
公園というならそれなりに広いスペースもあるだろうし盗品を隠す場所にしてもいくらでもありそうだ
ああ ここの西の街道先でそう遠くもない
よし さっそく自然公園を調べに…
待って！
エリオット？
その前に…
領邦軍からも直接話を聞いてみない？
えっ…!?


領邦軍詰所前
……やれやれ 我々も忙しいのだが
士官学院の生徒か…まあいい 手短に用件を言ってみたまえ
取り次いではもらったけどあからさまに迷惑そうね…
ぼそ
こういう時にこそ士官学院の身分を有効活用しなくてはな 軍の後塵にあたるわけだし
では単刀直入にお聞きします
今朝の屋台の事件ですが 領邦軍としてはあれ以上の調査を行わないおつもりですか？
フン 何を言うかと思えば……
いいか？
我々領邦軍が各地を維持するにあたってもっとも重要なものが分かるかね？
それは各地を治める領主―― 我々の場合はアルバレア公爵家―― 彼らの意向ということになる
貴族の命令は絶対だ 我々はその意向に従い守るべきものを冷静に判断しているだけなのだよ


公爵家に出されているという“増税取りやめの陳情”……それを取り下げない限りケルディックの大市は“守るべきもの”ではないと?
面の皮が厚いわね
ああ……何か手がかりが得られるかもと思ったけど……
……あ あのっ……
僕からひとつ いいですか?
フン…好きに解釈したまえ
被害者のマルコさんが取り扱っていた商品ですけど
あの装飾品の行方がどうなったか分かりますか?
……?
何を言っている
装飾品を扱っていたのはあのハインツとかいう帝都の商人の方だろう
——え
今 なんて……?
……な なんだ
どうして そんなことを詳しく知っているんですか?
この事件について領邦軍はろくに調査していないはずですよね?
ふむ…我々も先刻の聞き込みで知ったばかりの事なのだが?
た 隊長……!
わ……我々も独自の情報網を持っているということだ!
——さぁ 話は終わりだ! これで失礼する!
……
…ねぇ 今の話って…?
多分… 今回の事件は少し前から計画されていたんだよ


あの商人たちをわざといがみ合わせそのほとぼりが冷めないうちにさらに事件を起こす……
そうして領邦軍なしではどうにもならない状況まで騒ぎを悪化させたんだ
だが陳情が取り下げられない限り領邦軍がトラブルにまともに取り合うことはない……
あのタイミングで現れ強引にでも事態を収集することで領邦軍の存在をアピールした……
そうやって大市の人たちに陳情を取り下げざるを得ない状況を作ろうとしたのね
やったじゃないエリオット！
ニッ
た…たまたまだよ
ふふ そなたはなかなかに策略家だな
……さて さっそく犯人を見つけ出して捕まえたいところだが……
おそらく実行犯は別にいるはずだ
あの領邦軍が自らの手を汚してまで事を起こすことは考え難い
クロイツェン州からの命令でそんな状況が作られたとすると……思った以上に真っ黒みたいね
うん……！


よし 改めてルナリア自然公園の調査に向かおう！
ルナリア自然公園 最奥
へっ…何気にいい稼ぎになったな
これでも連中が陳情を取り下げなけりゃ もうちょい稼げるってことか
しっかしあいつらいったい何者なんだろうな？ 領邦軍の兵士にも顔が利いてるみてえだし
さてな……何を考えてるのかさっぱり判らん男だったからな
まあいい いつでもここを離れられるように準備を——
——甘いな
!?
ザッ
この場合現行犯逮捕が認められる状況なのかしら？
なっ
なんだおまえらは…！


これだね
盗まれた
商品は……！
こいつら…
入口のカギを
壊してまで
来たのか…？
ばっ
ハッ
ガキどもに何が
できるってんだ！
やっちまえ！
大人しく
捕まる気は
ないようだな
ああ
行くぞ！
だっ
ウソだろ……
こんな
ガキどもに……
ぐったり
やれやれ
口ほどにもない
連中だ
……
くっ……


勝負はあった
投降して 大市の
人たちにきちんと
謝罪してもらうぞ
それと"誰"に
頼まれたのかも
話してもらう必要が
ありそうだな？
ぬっ
ぐっ…！
うむ。
ん…？
エリオット？
なんだか
笛のような音が
聴こえたような
気が――
きょろ
!?
な 何…？
なんの音…？
バキッ
バキ
バキッ
!!
ち…
近づいてくる…!?


きょ…巨大なヒヒ……!? なんて大きさなの!?
この自然公園のヌシといったところか……? どうする リィン!?
くっ…《ARCUS》の戦術リンクをなんとか使いこなせれば……
みんな撃退するぞ!
ばっ
きゃあっ!?
アリサ! エリオット!
大丈夫! 回復は僕にまかせて…!
リィン! 私が奴の気を引きつける そなたは背後を!
わかった!
みんな元気を出して…!
《ARCUS》駆動——!


う…
頑張って
みんな…!
えいっ!
たあっ!!
うぁっ…!
よろ
今だ!
リィン!!
!?
すっ

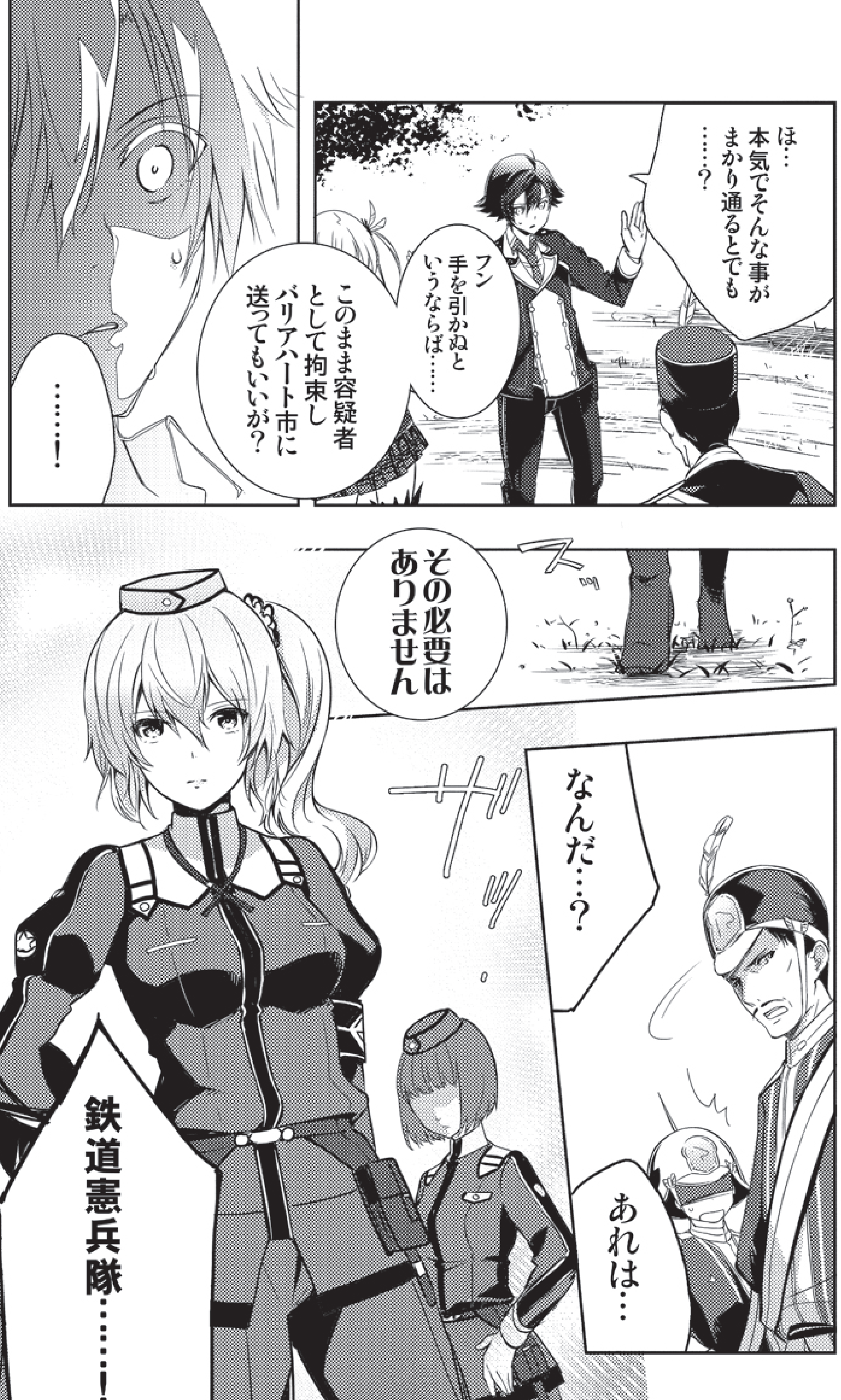

焔よ
我が剣に集えーー
なあああああっ


斬!!!


ぐら…
ドォ
……
や…やったわね…
はぁ~どうなるかと思ったよ…
ヘナ
見事だ リィン 今しがた見せたのは…?
今まで実戦ではロクに使えなかったんだが……なんとかコツが掴めたみたいだ
あぁ……
すごいやリィン!
ほんとここぞという時にやってくれるわね~
いや みんなの力を合わせたA班全員の"成果"だよ


……
ラウラ 今朝は済まなかった
“剣の道”を軽んじる言葉を言ってしまった
『ただの初伝止まり』なんて 考えてみれば失礼な言葉だ
……老師にも八葉一刀流にも
私は身分や立場に関係なくどんな人間も誇り高くあれると信じている
ならばそなたはそなた自身を軽んじた事を恥じるべきだろう
ラウラ……
リィン“剣の道”は好きか?
好きとか嫌いとかもうそういった感じじゃないな
あるのが当たり前で……自分の一部みたいなものだから
ならばよい私も同じだ
……とんでもねぇ……こんな連中が出てくるとは……
あの野郎……話が違うじゃねぇか……


“あの野郎”…?
手を上げろ!
抵抗は無駄だぞ!
ざっ
え……!?
りょ…
領邦軍…!


へへへ…
頑張ったみてぇだがここまでのようだなァ？
……
何故そこの彼らではなく我らを取り囲むのだ……？
ジャキッ
口答えをするな……！
完全に野盗とグルじゃないか…！
呆れ果てたわね…
ザッ
……なんの話かな？
確かに盗品もあるようだが彼らがやった証拠はなかろう可能性でいうならば……
“君たち”の仕業…ということもあり得るのではないか？
ええっ!?

ほ…本気でそんな事がまかり通るとでも……？
フン手を引かぬというならば……
このまま容疑者として拘束しパリアハート市に送ってもいいが？
……！
スッ
その必要はありません
ザッ
ザッ
なんだ…？
あれは…
鉄道憲兵隊……！


ア
《氷の乙女（アイスメイデン）》……
《鉄血》の子飼いがどうして……
ザァ
こっ…この地は我らクロイツェン州領邦軍が治安維持を行う場所…！貴公ら正規軍に介入される謂れは…
お言葉ですがケルディックは鉄道網の中継地点でもあります
そこで起きた事件については我々にも捜査権が発生する…その事はご存知ですよね？
そして元締めの方たちを始め 関係者の証言から判断するに
こちらの学生さんたちが犯人である可能性はあり得ません
何か異議はおありでしょうか？


ぐっ……
——撤収！ケルディックに戻るぞ！
は はい…！
バタ
バタ
…拘束してください
ジャキ
ッ
お おいおい領邦軍！そりゃあねえだろ!?
俺たち置いて逃げるのかよ!?話が違うじゃねえか
……鉄血の狗（イヌ）が
……
バタ
バタ
！



綺麗な人……
こ こんな人が鉄道憲兵隊の……?
ふふ お疲れ様でした
私は帝国軍・鉄道憲兵隊所属 クレア・リーヴェルト大尉です
調書への協力ありがとうございました
今回の事件解決はあなた方のおかげです オットー元締めもとても感謝していました
そ そんな…私たちの方こそ協力していただいて…



いえ 正直なところ余計なことをしたかもしれません
あらゆるトラブルも含めての《特別実習》かもしれませんから
——さすがにそこまでは考えてないけどね〜
……サラさん
教官…!
……お久しぶりです
半年ぶりくらいかしら それにしても《氷の乙女(アイスメイデン)》と呼ばれるアンタがここに出張ってくるとはね〜
それでは皆さん 私たちはこれで失礼します
特科クラス《Ⅶ組》 私も応援させて頂きますね
ザッ
あの…教官のお知り合いなんですか?


……ま
色々あってね
さて 特別実習も一通り
片付いたみたいだし
あたしたちもここの人たちに
挨拶を済ませたら
お暇しましょうか！
ゴォオオ…
ゴトン…
Zz…
ゴトン、、
初めての
《特別実習》……
何を目的としているのか
なんとなく判ってきた
気がするな…
そうね やっぱり
《ARCUS》の
テストはあくまで
目的のひとつ……
私たちに色々な
経験を積ませるのが
目的なんでしょうね
色々な経験か……
……


……みんな…
ひとつ聞いて
欲しいことがある
ゴトン、、
入学して《VII組》に
入ってひと月が経って……
考えればみんなには
ずっと不義理を
していたと思ってさ…
え…？
実はみんなに
黙っていた事が
あるんだ
ゴトン…
……
俺の"身分"に
ついてだ
ゴトン
サァ…
ゴトン…
……
ゴトン…


英雄伝説 碧の軌跡
FB ファルコムBOOKS
いつか貴方とお茶会を
著者：むらさきゆきや
イラスト：窪茶
『碧』でもゆる～く活躍中!?
『月刊 Falcom magazine』で好評を博した『英雄伝説 零／碧の軌跡』の主人公・特務支援課がゆる～く活躍するノベライズ作品の第二弾がついに発売！ 今回もゲーム本編とはひと味違った魅力満載の小説となっているぞ！
好評発売中!!
定価：1,100円+税
ISBN：978-4-89610-821-7
©Nihon Falcom Corp. All rights reserved.
発行：フィールドワイ
発売：メディアパル
フィールドワイのHPはこちら
www.field-y.co.jp


やれやれ あのタイミングで《氷の乙女》が現れるとは……
少々 段取りを狂わされたな
……想定の範囲内だ
《鉄道憲兵隊》と《情報局》……その連携パターンが見えただけでも大きな成果といえるだろう
フフ 確かに それでは《計画》をこのまま進めるとしようか?
ああ…もちろんだ すべては"あの男"に無慈悲なる鉄槌を下すために
すべては"あの男"の野望を完膚なきまで打ち砕かんために……!
なんとか事件を解決に導いた《VII組》一同
だがその裏で、新たな"影"が躍動を始めていた……!?

英雄伝説 閃の軌跡
～メンタルクロスリンク～

著：草薙アキ　イラスト：ＹａｈａＫｏ



第1話　イリーナ・ラインフォルトからの新たな依頼

プロローグ

「いくぞ、皆！」
叱咤するように声を張り上げたのは、東方由来の刀を握った、精悍な顔立ちの少年だった。
リィン・シュバルツァー。
ゼムリア大陸西部の軍事国家――エレボニア帝国。
その北部にあるユミルの貴族――シュバルツァー男爵家の養子で、ここトールズ士官学院特科クラス《Ⅶ組》のリーダー格でもある少年だ。
幼い頃に東方剣術の集大成と言われる、《八葉一刀流》の開祖――《剣仙》ユン・カーファイに師事し、今では〝初伝〟を受けるまでの腕になっている。

「ええ！」「承知！」「Ｊａ（ヤー）！」
彼の声に頷いたのは、見目麗しい三人の少女たち。
だがそれぞれの手には、その可憐な見てくれとは似つかわしくない〝獲物〟が握られていた。
金髪の少女は導力式の弓を、青髪の少女は身の丈ほどもある大剣を、銀髪の少女は二丁の銃剣を握り、リィンと同じく目の前の敵――〝首のない鎧姿の魔獣〟と対峙していたのだ。
帝国領トリスタにあるトールズ士官学院には、〝旧校舎〟と呼ばれる無人の建物がある。
これは古代ゼムリア文明が滅びた謎の現象――通称《大崩壊》の後、五〇〇年間続いた戦乱の時代に建てられた代物だと言われており、内部は遺跡構造になっている。
建造にどのような技術が用いられているのかも定かではない上、ここ最近は毎月の如く内部の構造が変化することから、リィンたちは学院長のヴァンダイクより、ここの調査を任されていたのだ。
そして今――地下五層で彼らは戦っていた。
敵は一体だが、通常の魔獣ではない。
地下四層の時に現れた相手と同じく、〝扉〟の向こうから現れた謎の敵。
だからこそ油断は出来ない。
一瞬の隙が命取りに繋がる。
ならば全力で――一気に叩くしかない！



「――我が剣に集え……っ」

リィンたちはそう覚悟を決め、各々が持つ最大最強の奥義――〝Ｓクラフト〟を発動させるのだった。

一章

話は少し前に遡る。

うだるような暑さも終わりを告げた、九月上旬のある自由行動日のこと。

第三学生寮の自室で勉強をしていた、アリサ・ラインフォルトの元に、実家のメイドにして、この第三学生寮の管理人でもある、シャロン・クルーガーが尋ねてきたのが始まりだった。

『――お嬢さま、少しよろしいでしょうか？』

二回ほどノックした後、涼しそうな声でシャロンは尋ねる。

紫を基調としたメイド服に身を包んだ、柔和な面持ちの美女である。

アリサにとっては頼れるお姉さん的な存在であり、彼女の弓術もシャロンから教わったものだ。

「シャロン？　どうしたの？　入っていいわよ」

「失礼いたします」

ドアを開け、一礼した後、歩を進めるシャロン。

ただ普段通りにしているだけなのだが、所作の一つ一つには、なんとも言えぬ気品が感じられた。

そんなシャロンを迎えたのは、煌々と輝く金の髪を、ツーサイドアップ状に結っている美少女だった。

アリサ・ラインフォルト。

エレボニア帝国最大の重工業メーカー――ラインフォルト社の令嬢にして、特科《Ⅶ組》の一員でもある少女だ。

《Ⅶ組》の象徴とも言うべき〝深紅の制服〟を見事に着こなし、シャロンのことをその宝石のような緋色の瞳でじっと見据えていた。

アリサの前に辿り着いたシャロンは、再び一礼する。

「お勉強中に失礼いたします」

「別に構わないわ。そろそろ終わろうと思っていたし」

ノートをぱたりと閉じ、アリサは椅子から腰を上げ、腕を組む。

「それでどうしたの？」

「はい。実はイリーナ会長より、新型ＡＲＣＵＳ（アークス）の試験をして欲しいというご依頼がございまして」

英雄伝説 閃の軌跡
～メンタルクロスリンク～

「母さまから？」

「はい。ラインフォルト社からの正式なご依頼ですので、すでに各理事の方々を始めとし、学院長のヴァンダイクさまや、生徒会長のトワさまからもご了承をいただいております」

「……つまり否が応でも受けろってことじゃない」

相変わらずの手回しの速さに、アリサは小さく息を吐いた。

シャロンほど有能なメイドは、世界中のどこを探しても、数人存在するかどうかというレベルだろう。

常に微笑みを絶やさず、炊事などの家事はおろか、イリーナからの仕事も完璧にこなす。

あまりの有能ぶりから、〝スーパーメイド〟などと呼ばれていたりもするが、事実シャロンは有能――いや、メイドとしては〝完璧〟と言っても過言ではない。

癪だが、それはアリサとしても認めざるを得ないことだった。

「まあいいわ。シャロンに敵わないのはいつものことだし」

「恐れ入ります」

にこりと微笑むシャロンに、アリサはジト目混じりの眼光を向ける。

「で、私はどうすればいいの？」

「はい。まずはリィンさまのお部屋に向かいましょう」

「リィンの？」

「はい。あ、それよりお越しいただいた方がよろしいですか？　それでしたら、私は席を外させていただきますが」

「あ、あなたがいなくなってどうするのよ!?」

　慌てて突っ込むアリサに、シャロンはふふっといたずらな笑みを浮かべる。

「……まったく」

「ふふ、申しわけございません」

「別にいいわ。それよりリィンのところに行くのでしょう？」

「はい。今回のご依頼は、主に《Ⅶ組》の皆さまのお力をお借りすることになりますので、リーダー格であるリィンさまにお話しするのがよろしいかと」

「分かったわ。じゃあ行きましょう」

「――なるほど。新型ＡＲＣＵＳの試験ですか」

　アリサ同様、シャロンから一通りの説明を受けたリィンは、頷き、「分かりました」と協力する旨を伝えた。

「俺でよければ協力させてください」

「ありがとうございます。それではこちらが今回使用していただく、新型のＡＲＣＵＳになります。現在使用されているＡＲＣＵＳに関しましては、一度私の方で預からせていただきます

英雄伝説 閃の軌跡
～メンタルクロスリンク～

ので」

　シャロンから新型のＡＲＣＵＳを二機ずつ受け取ったリィンとアリサは、それをまじまじと見つめる。

　現在使用しているＡＲＣＵＳとは、少々デザインが違うようだ。

　ＡＲＣＵＳは、ラインフォルト社とエプスタイン財団が共同開発した、次世代型戦術オーブメントで、端的に言えば〝持ち主の戦闘力を強化する携帯端末〟である。

　戦闘中に高度な連携を可能とする、〝戦術リンク〟機能を最大の特徴とし、便利な通信機能も搭載されている。

「会長からお預かりしている新型ＡＲＣＵＳは、全部で四機ですので、後二名ほど《Ⅶ組》の方からご協力いただければと思います」

「分かりました。戦術リンクを駆使して、普段通りの戦い方をすればいいんですね？」

「ええ、そういうことになります。皆さまの準備が出来ましたら、一言お声をかけてくださいませ。試験には私も立ち会わねばなりませんので」

「はい。その時はよろしくお願いします」

「いえいえ、こちらこそですわ」

　良い雰囲気で談笑する両者（主にリィン）に、アリサはじろっと半眼をぶつける。

　当然、そういう行動に出るだろうと見越していたシャロンは、メイドの嗜みとして気を使う。



「では私はこれで。人払いをしておきますので、後はお二人でごゆっくり」
「そ、そういうのはいいから！」
「？」
何故アリサが慌てているのか、リィンだけはよく分かっていなかった。
行動は早い方がいいだろうと考えたリィンは、アリサとともに協力してくれるメンバーを探すことにした。
手っ取り早くARCUSの通信機能を使おうとしたが、連絡先がインプットされている自身のARCUSは、先ほど二人ともシャロンに渡してしまったことを思い出す。
「しまった。ARCUSはシャロンさんに渡したんだった」
「まだ一階にいるかもしれないわ。一度シャロンのところに行きましょう」
「ああ、分かった」
と、勢い込んだものの、シャロンの姿は寮内のどこにも見つけることは出来なかった。
恐らく外出してしまったのだろう。
ならば仕方がない、とリィンたちは直接《Ⅶ組》のメンバーに声をかけることにした。
寮内には誰もいなかったので、トリスタの町か、学院の方に出向いているはずだ。
そう考えたリィンたちは、喫茶店であり、宿泊も扱っている《キルシェ》や、食品や雑貨な

どを扱っている《ブランドン商店》、ブティックの《ル・サージュ》、ブックストアの《ケインズ書房》と回り、最後に質屋の《ミヒュト》にも寄ってみたが、《Ⅶ組》のメンバーを発見することは出来なかった。

「うーん、どうやらこっちの方にはいないみたいだな」

「そうね。やっぱり学院の方かしら？」

「ああ、たぶんそうだろう。クロウ以外は皆部活に入ってるし、もしかしたら部室の方にいるかもしれないな」

「その可能性はあるわね。じゃあ行ってみましょうか」

「そうだな」

　再び歩き始めたリィンたちは、途中、橋の近くで釣りをしている、釣皇倶楽部のケネスを見かけたので、軽めの会釈をしておいた。

　というのも、リィンはケネスから釣りを勧められ、今では〝黒竿釣師〟の称号を得るまでになっていたからだ。

　釣果に応じてポイントが貯まり、それをケネスが様々なアイテムと交換してくれるため、割とお世話にもなっている。

　ソーディやカルブ、サモーナといった魚たちのバッジもあり、これは女子にも人気があるらしい。

英雄伝説 閃の軌跡
～メンタルクロスリンク～

　七耀教会の礼拝堂も覗いてみたが、同じ学年でシスター見習いのロジーヌが子どもたちの相手をしているだけで、《Ⅶ組》のメンバーはいないみたいだった。

「やっぱり学院の方にいるみたいね」

「ああ、そうらしい。とりあえず学生会館に行ってみよう」

「ええ、分かったわ」

　学生会館に到着したリィンたちは、二階へと上り、〝読書部〟の札がある扉の前へと立った。

　学生会館は、その名の通り生徒たちの生活をサポートするための施設であり、食堂や購買部、文化系部活の部室に生徒会室、最上階には貴族専用のサロンも存在する。

『えっと、さすがにそういうのは……』

　部室の中からは、見知った女性の声が聞こえており、リィンたちは《Ⅶ組》メンバーの一人がここにいることを確信した。

「すみません」

　言いながらリィンがノックをすると、

『はい、どちらさまでしょうか？』

《Ⅶ組》メンバーの一人である、エマ・ミルスティンが扉を開けた。

「あら、リィンさん？　それにアリサさんも」

少々驚いたような顔をする、三つ編みと眼鏡が特徴的な美少女。

エマ・ミルスティン。

《Ⅶ組》の学級委員長を務めている少女で、学年トップの成績を誇るほど優秀だが、それを傲ることのない、柔和で優しい性格の持ち主であり、〝委員長〟の愛称で親しまれている。

一見すると、地味な印象を受けるが、《Ⅶ組》の女子の中では、最もスタイルがよく、とくに胸元の成長が著しい。

「やあ、委員長。少し話せるか？」

「あ、はい。ちょっと待ってくださいね」

言って、エマは部屋の奥に腰かけていた少女――読書部の部長であるドロテに一言二言話しかけた後、一礼して戻ってきた。

余談だが、この読書部は通常のそれとは異なり、なんでも〝乙女の嗜み〟なるものを学ぶための部らしい。

しかし以前それを学んでいる時のエマは、なんだか戸惑っている様子だったのだが、一体〝乙女の嗜み〟というのは、どういう類のものなのだろうか。

リィンがそんなことを考えていると、「お待たせしました」とエマが再度声をかけてきた。

「それで、私に何かご用でしょうか？」

「ああ、それなんだが……」

英雄伝説 閃の軌跡
～メンタルクロスリンク～

ちらっとアリサの方に視線を向けてみれば、彼女は静かに頷いた。

つまりリィンから伝えてもらって構わないということだ。

アリサの意を汲み取ったリィンは、先ほどシャロンから伝えられたことを、そのままエマに話した。

「なるほど。それで試験に参加出来る方を探しているのですね？」

「ああ、そういうことになる。もし時間があれば、委員長に頼みたいんだが……」

そう告げると、エマは少々申し訳なさそうに顔を曇らせた。

「……ごめんなさい。これから部長の作業をお手伝いする約束をしていまして……」

「そうだったのか……。いや、気にしないでくれ。そういうことなら、無理強いは出来ないしな」

「そうね。他を当たってみましょう。邪魔してごめんなさい、エマ」

「いえ、こちらこそお力になれなくて申しわけありません」

「ううん、気にしないで」

手を小さく振るアリサの言葉に、エマも少し気が楽になったのか、「それでは」と頭を下げ、部室に戻っていった。

「委員長は忙しいみたいだな」

「まあ仕方ないわ。他の人を当たりましょう。確かここにはマキアスの部室もあったわよね？」

「ああ、その部屋だな」

　次にリィンたちが向かったのは、《Ⅶ組》メンバーの一人――マキアス・レーグニッツが籍を置く、第二チェス部の部室だった。

〝第二〟とつくところからも分かるように、この学院には〝第一チェス部〟というものが存在する。

〝第一〟と〝第二〟の違い――それは〝身分〟だ。

　前者は貴族の生徒たちで構成されており、後者は平民の生徒たちが主となっている。

　これはチェス部に限ったことではないが、両身分の軋轢は決して浅いものではなく、大きく分ければ、《貴族派》と《革新派》という両派閥が、水面下で常に火花を散らしている。

　このトールズ士官学院でさえ、貴族は白い制服を、平民は緑の制服を着用するなど、色々と区別されており、待遇も違う。

　とはいえ、皆が皆反発し合っているわけではなく、リィンたち《Ⅶ組》のように、身分に関係なく集められたクラスも存在するくらいだ。

　先ほどと同様に扉をノックすると、中から『どうぞ』というマキアスの声が返ってきた。

　どうやら彼もここにいるようだ。

「失礼します」

　リィンが扉を開けると、マキアスと部長のステファンが、チェス盤を挟んで睨み合っていた。

「リィンと……アリサか？　少し待ってくれ。今大事な局面なんだ」

英雄伝説 閃の軌跡
～メンタルクロスリンク～

「あ、ああ……」

　マキアス・レーグニッツ。

　エマに次ぐ秀才で、彼女をライバル視している、短髪と眼鏡が特徴的な少年だ。

　努力家の上、負けず嫌いで、入学当初は《Ⅶ組》の中でもとくに〝貴族〟というものに嫌悪感を抱いていた。

　平民初の帝都知事である、カール・レーグニッツの息子でもあり、そのことが原因で、特別実習の際、〝翡翠の公都〟と呼ばれる貴族の都――バリアハートで拘束されるという事件もあった。

　もっとも、その時は同じ《Ⅶ組》のメンバーである、貴族のユーシス・アルバレアの協力もあり、なんとか事なきを得たのだが。

　張り詰めた空気の二人を遠巻きに見ていたリィンたちは、あまりの緊張感に息をすることすら忘れてしまっていた。

「――チェックメイトです、部長」

「うぐっ……。さすがだ、マキアス君。僕の完敗だ……」

「いえ、僕もかなり追い詰められていました。第一チェス部との試合も近いですし、まだまだ煮詰める必要がありそうです」

「そうか……。いや、うん。その通りだ。もう一戦お願い出来るかい？」

「もちろんです、部長。と、その前に……」

顔を上げたマキアスに、リィンたちもはっと意識を取り戻す。

「凄い戦いだったな、マキアス」

「いや、このくらいは当然さ。何せ、第一チェス部との、部の存亡をかけた試合が待っているからな」

「えっ……」

どういうことかと聞く前に、マキアスの方から「ところで僕に用か？」と尋ねられた。

（ね、ねえ、リィン？　なんだかかなり切迫した状況みたいなのだけれど……）

（みたいだな……。〝部の存亡をかけた〟と言うくらいだ。恐らく俺たちが考えている以上に重みのある試合なんだろう）

（そう……。ならマキアスに頼むのは止めておきましょう。彼には彼にしか出来ないことがあるみたいだし）

（そうだな。俺もアリサと同意見だ）

リィンたちが小声で相談していると、マキアスが小首を傾げながら問うてきた。

「なんだ、二人でこそこそと。僕に用があったんじゃないのか？」

「いや、大した用じゃないし、マキアスの方も忙しそうだからな。今回は止めておくよ」

「そうか。いや、正直助かる。力になれなくてすまないな」

「いや、気にしないでくれ。じゃあ俺たちはこれで」

「ああ」

退室した後、アリサは小さく一息吐いた。

「……ふう。見ているこっちが緊張しちゃったわ」

「そうだな。二人とも凄い気迫だった。しかし参ったな……。委員長に続いてマキアスも駄目か……」

「まあ仕方ないわよ。無理を言っているのはこちらだもの。あまり気にせず次を当たってみましょう」

「分かった。ギムナジウムにはラウラがいるはずだ。行ってみよう」

「ええ」

ギムナジウムは、主に生徒の鍛錬を目的とした施設だ。

修練場やプール、運動系部活の部室のみならず、地下には射撃などの訓練が行える戦術訓練場も備わっており、生徒たちが日々汗を流し続けている。

プールで《Ⅶ組》メンバーの一人にして、水泳部に所属するラウラ・S・アルゼイドの姿を見つけたリィンたちは、丁度プールサイドに上がった彼女の元へと駆け寄った。

水泳帽をとったラウラは、その流れるような青い髪をポニーテイル状に結い、プールサイド

に置かれたベンチで一息吐いていた。

ラウラ・S・アルゼイド。

凛然とした面持ちと、日々の鍛錬によって培われた抜群のスタイルを持つ美少女で、騎士道を重んじている。

こんなにも清艶な容姿の持ち主である彼女だが、〝新入生最強〟と呼ばれるほどの実力者であり、《光の剣匠》と呼ばれる、帝国最強の剣士――ヴィクター・S・アルゼイドを父に持つ。

名からも分かるように、彼女の修得した剣術は、帝国内でも誉れ高い《アルゼイド流》だ。

周知の事実だが、アルゼイドの家は、同じく武の名家として知られる、ヴァンダール家と双璧を成す存在でもある。

リィンたちの存在に気づいたラウラは、「おや？」と不思議そうな顔をしていた。

「どうしたのだ？　水練の稽古にでも来たのか？」

「いや、今日はラウラに用があってな」

「私に？　そうか。では着替えるので、少し待っていてもらえるだろうか？」

「それは構わないが、水泳部の練習はもういいのか？」

「ああ。今日は軽く流していただけだからな。問題ない」

言って、ラウラはベンチから腰を上げた。

残った水滴が、彼女の身体のラインを伝って床に落ちる。

「――」

たったそれだけのことであるが、リィンの目にはそれがなんとも美しい――高名な芸術品のように思えてしまった。

が――じろりっ。

「リ、ィ、ン？」

それに気づいたアリサの目は、あきらかに笑っていなかった。

「い、いや、違うんだ。俺は決していやらしい気持ちで見ていたわけじゃ……」

「さあ、どうだか？　あなたには〝前科〟があるし。この前の水練の授業も、同じことを言ってたけれど、やったことと言えば――」

「……分かった。俺が悪かった……」

どれも不可抗力に違いはないが、がっくりと肩を落としたリィンを放置し、アリサはラウラに告げる。

「じゃあ私たちは更衣室の前で待ってるから。きちんとリィンのことは見張っておくから、あなたは安心して着替えてちょうだい」

「ふふ、承知した。では後ほど」

更衣室に向かうラウラを見送った後、「ほら、行くわよ」と失意のリィンはアリサに引っ張られていった。

「――承知した。私でよければ協力しよう」

着替え終わったラウラに事情を説明すると、彼女はすんなりとそれを承諾してくれた。

三人目にして得たやっとの成果に、リィンたちは揃って安堵の表情を浮かべた。

「ありがとう、ラウラ」

「ふふ、構わぬ。困った時はお互いさまだ。それにこれは私にとってもいい鍛錬になりそうだからな」

「いや、それでも本当に助かったよ。俺からも礼を言わせてくれ」

「分かった。ならば素直に受け取っておこう」

微笑み合い、三人は最後の協力者を捜すため、ギムナジウムを後にしてグラウンドに向かった。

グラウンドでは、アリサの所属するラクロス部の他、先の話題でも出たユーシス・アルバレアの所属する、馬術部などが活動している。

厩舎の前で馬の世話をしていたユーシスの姿を発見したリィンたちは、「お疲れ、ユーシス」と労いの声をかけた。

「なんだ、誰かと思えばお前たちか」

やや尊大な口調で振り向いたのは、どこか高貴な雰囲気漂う、金髪に碧眼の少年だった。

英雄伝説 閃の軌跡
～メンタルクロスリンク～

ユーシス・アルバレア。

貴族の中でも〝四大名門〟と呼ばれる名家の一つ――アルバレア公爵家の次男で、言動は尊大だが、心根は仲間思いの優しい少年である。

貴族を毛嫌いしていたマキアスとは、一時期険悪な関係であったが、特別実習などの経験を経て、口では言い合いつつも、今では良きライバル的な間柄となっている。

ユーシスは馬の世話をする手を止め、リィンたちに向き直った。

「揃って現れたところを見ると、何か俺に用があるらしいな?」

「ああ。実は少し協力してもらいたいことがあるんだ。もちろんユーシスの手が空いていればの話なんだが……」

「ほう。手が空いているかどうかは見ての通りだが、一応言うだけ言ってみろ。聞く耳くらいは持ち合わせているつもりだ」

「分かった」

頷き、リィンは何度目かの同じ説明をユーシスにする。

リィンの話を黙って聞いていたユーシスは、聞き終えた直後に「そういうことか」と納得した様子を見せたのだが、

「悪いが他を当たってくれ。新型のARCUSというものには、俺も興味があるが、今はこいつらの世話で少々手が離せんのでな」

白馬の首元を優しく撫でながら言うユーシスに、リィンは口元をふっと和らげた。
「いや、気にしないでくれ。ユーシスならそう言うと思っていたからな」
「そうか。また用があれば声をかけるがいい。手を貸せる時もあるだろう」
「ああ、その時はよろしく頼む」
ユーシスの元を後にしながら、リィンたちは次にどこに向かうかを話し合う。
「そういえば、クロウ先輩とかはどうなの？　いつも暇そうにしているけれど？」
「ああ、クロウか……」
問われたリィンの顔に曇り色が宿る。
アリサの言ったクロウ・アームブラストは、リィンたちの一年上の先輩にあたるのだが、授業をサボり過ぎたおかげで単位が不足し、現在はそれを埋めるため、期間限定で《Ⅶ組》に編入している。
面倒見のよい性格だが、色々とおちゃらけており、子ども相手に《ブレード》というカードゲームで賭け事（飴などだが）をするなど、いわゆるガキ大将みたいな少年である。
困ったように頭を掻くリィンに、アリサとラウラは揃って顔を見合わせた。
「実は夕べ話した時に、今日は帝都で〝絶対に外せないレース〟があるとかで、今は多分ヘイムダルにいるはずだ」
「ふむ、以前実習で訪れた際も、何やら賭け事に興じていた気がするが……」

英雄伝説 閃の軌跡
〜メンタルクロスリンク〜

「ああ。もっとも、未成年だから実際にレースに参加するわけじゃなく、雑誌か何かの企画でハガキを送って応募するような形だったはずだ」
「なるほど。それで今回もその結果を生で見るために、わざわざ帝都まで行ったわけね？」
「ああ、そういうことになるな」
揃って嘆息し、それならば仕方がないということで、意見を一致させる三人だった。

本校舎に移動しようとしたリィンたちは、途中、写生用具を片手に歩く、褐色肌に長身の少年と、偶然にも出会うことが出来た。
ガイウス・ウォーゼル。
エレボニア帝国の国境に位置する、ノルド高原で生活する遊牧民の生まれで、自然を愛する真面目な少年だ。
《隻眼のゼクス》と呼ばれる、帝国軍のゼクス中将を魔獣の群れから救ったことで、士官学院への推薦を得、今に至っている。
絵を描くことが趣味であり、以前はノルドの風景をよく描いていたらしく、技術を学ぶため、今は美術部に所属している。
「……む？」
リィンたちの存在に気づいたガイウスは、しっかりとした足取りでこちらに近づいてきた。

「やあ、ガイウス」
「ああ。アリサとラウラも元気そうで何よりだ」
「うむ、そなたもな」
「まあ昨日の今日だしね。それは絵の道具？」
　アリサに問われたガイウスは、「そうだ」と大きく首肯した。
「部長に言われてな。たまには普段行かない場所で刺激を受けてこいとのことだ」
「なるほどね。確かにいつも部屋の中じゃ、いいアイディアも浮かばないでしょうし」
「ふむ、一理あるな。私も故郷にいた頃は、様々な場所で鍛錬を行ったものだ」
「えっと……それはまた別の問題だと思うのだけれど……」
「ふむ？」
　小首を傾げるラウラに、「まあいいわ」とアリサは話を切り替える。
（リィン、どうするの？）
（そうだな、個人的には頼みたいが、せっかく今日は天気もいいし、絵を描くにはもってこいの日だと思う。何より美術部としての活動中だからな。残念だが他を当たろう）
（そうね。私もそれがいいと思うわ）
（うむ、異存はない）
　密談し、結論の出た三人は、それをガイウスに伝えることにした。

「大丈夫か？　俺に用があったように見えるのだが……」
「ああ。実は頼みたいことがあったんだけど、そこまで重要なことじゃないから気にしないでくれ。それよりいい絵が描けるといいな」
「ありがとう。そう言ってくれると、いい風に恵まれそうな気がしてくる」
「じゃあ頑張ってね」
「また会おう」
「ああ。リィンたちの方も頑張ってくれ」
　ガイウスを見送り、リィンたちは再び本校舎を目指す。
《Ⅶ組》のメンバーで残っているのは、後三人。
　そのうちの一人でも協力してくれればよいのだが……。
　そう思いながら、リィンたちは吹奏楽部に所属する、エリオット・クレイグがいるであろう音楽室の前にやって来た。
　中からは多種多様な楽器の演奏が聞こえてきており、リィンたちは演奏が止んだのを確認してから扉をノックし、エリオットを呼び出した。
　運よくエリオットは音楽室内で活動しており、呼び出しに応じて廊下の方に来てくれた。
「やあ、リィン。それにアリサにラウラも。三人揃ってどうしたの？」
　どこか母性本能をくすぐる微笑みでリィンたちを迎えた、鮮やかな紅髪が特徴の少年。

エリオット・クレイグ。

〝帝国軍最強〟と謳われる、第四機甲師団の団長――《紅毛のクレイグ》ことオーラフ・クレイグを父に持つが、ピアノ教師であった母と姉の影響を強く受けており、彼自身は軍人ではなく、音楽家を目指している。

年上受けする可愛らしい容姿のため、故郷にいた頃は、ご近所のお姉さん方から莫大な支持を得ていたらしい。

「お疲れ、エリオット。相変わらず楽しそうだな」

「うん！　音楽は楽しいよ！」

満面の笑みでそう言うエリオットの様子に、リィンたちは本当に音楽が好きなんだなと温かい気持ちになった。

「あ、ごめんごめん。それでどうしたの？　僕に何か用？」

「ああ。実はエリオットに頼みたいことがあったんだが……今は何かの練習中だったのか？」

「あ、うん。リィンたちも来てくれた、この前の演奏会なんだけど、嬉しいことに凄く評判が良くてね。それでまた是非演奏会を開いて欲しいって言ってくれる人たちがいたんだ」

「なるほど。それでそなたはその演奏会に向けて、皆で練習をしていたわけだな？」

ラウラがそう問えば、エリオットは清々しいくらいの笑顔でこくりと頷いた。

「うん、そうなんだ。もう少ししたらまた実習とか始まっちゃうでしょ？　だから今しか時間

英雄伝説 閃の軌跡
～メンタルクロスリンク～

がなくてね」

「そうか。それは邪魔してすまなかった」

「ううん、気にしないでよ。休憩だって大事だしね。それで頼みたいことって何かな？　僕に出来ることならいいんだけど」

「「「……」」」

エリオット以外の三人が、無言で顔を見合わせて頷く。

この状況で頼むことなど出来はしない――三人が三人ともそう考えていたのだ。

「いや、大したことじゃないし、もし手が空いていればの話だから気にしないでくれ」

「えっ？　でもわざわざ三人で来るぐらいだし、大切なことだったんじゃないの？」

申し訳なさそうな顔をするエリオットに、アリサは苦笑しながら小さく両手を振る。

「いいのいいの！　シャロンにちょっと頼まれたことだから、私たちだけでもなんとかなるし。それより次の演奏会、とても楽しみにしているから頑張ってね」

「うん、ありがとう。でも本当に大丈夫？」

「案ずるな。私もついている」

「そっか。じゃあ悪いけど、そっちは皆に任せるよ」

「ああ、頑張ってくれ」

「うん！　じゃあまたね！」

最後にもう一度微笑み、エリオットは室内へと戻っていった。

再び演奏が聞こえ始めてから、リィンたちも次の場所へと向かい始めるのだが、

「……ああは言ったけれど、さすがにちょっと心配になってきたわ」

「あ、ああ……。そうだな」

「うむ……」

三人の足取りは少々重いものになっていた。

残る《Ⅶ組》メンバーは二人。

もしこの二人が駄目ならば、最悪《Ⅶ組》の担任である、サラ・バレスタインに頼むか、それとも《Ⅶ組》ではない他のＡＲＣＵＳ所持者に頼むか……。

どちらにせよ、今回の依頼はＡＲＣＵＳの試験配備がされている、《Ⅶ組》へのものだ。

可能な限り《Ⅶ組》のメンバーで試験に臨みたい。

リィンにしろアリサにしろ、その気持ちは同じだった。

「――よし、気を取り直して、次は調理室へ行こう。ミリアムがいるかもしれないからな」

そう勢い込み、調理室に向けて歩き始めたリィンだったが、

「……あのね、リィン。非常に言いにくいのだけれど……」

と、アリサが視線を外しながら彼の足を止めた。

「どうしたんだ？」

英雄伝説 閃の軌跡
～メンタルクロスリンク～

「とりあえずあれを見よ」

窓の外を指差すラウラの視線の先を追ってみると、

「ミ、ミリアム!?」

そこにはゆらゆらとどこかへ飛び立っていく、ミリアム・オライオンの姿があった。

ミリアム・オライオン。

一見すると、無邪気で人懐こい性格の少女だが、その正体は《白兎》のコードネームを持つ、帝国軍情報局に所属するエージェントである上、《鉄血宰相》の異名を持つ、エレボニア帝国の宰相――ギリアス・オズボーン配下《鉄血の子供たち》の一人でもある。

《Ⅶ組》に編入したのも、《鉄血宰相》の指示によるものであり、彼女にはなんらかの任務が課せられているらしい。

これだけの経歴を持つ彼女だが、実年齢は未だに〝一三歳〟というから驚きである。

そんなミリアムが、今リィンたちの目の前で、自身の持つ謎の傀儡――アガートラムの腕に乗り、何処かへと飛び立っていく。

リィンは慌てて窓を開け、小さくなっていくミリアムの背に向けて叫んだ。

「ミリアムー！」

「あ、リィンだ！　ヤッホー！」

ミリアムは無邪気に笑いながら、大きく手を振っていた。



「いや、ヤッホーじゃなくって……。どこへ行くんだー？」

「部活でクッキー作ったから、レクターたちに分けてくるねー！」

ちなみにミリアムの言うレクター・アランドールも、彼女と同じ《鉄血の子供たち》の一人である。

つまり帝都ヘイムダルに向かおうとしているわけだ。

「じゃあねー！」

ふりふりと再度大きく手を振り、ミリアムは飛んで行ってしまった。

「「……」」

残されたリィンたちは、ただ呆然と彼女を見送ることしか出来なかった。

残り二人のうち、早速一人の可能性が消えた瞬間だった。

なんだか無駄に気疲れしたリィンたちだったが、旧校舎のベンチで昼寝をしていた《Ⅶ組》メンバー最後の一人――フィー・クラウゼルと出会ったことで、その気持ちは一気に吹き飛んだ。

「……ん。いいよ」

詳細を聞いたフィーが、二つ返事で了承してくれたからだ。

フィー・クラウゼル。

面倒臭がりの性格で、いつも眠そうな顔をしている小柄な美少女だが、驚異的な身体能力を持ち、二階くらいの高さなら、普通に飛び降りたり、壁伝いに駆け上がったりする。

というのも、フィーは元々《西風の妖精》と呼ばれるほどの猟兵——つまりは〝傭兵〟であり、ゼムリア大陸でも屈指の猟兵団である、《西風の旅団》の一員だったのだ。

そのことで〝猟兵〟というものに、あまり良い印象を抱いていなかったラウラと、一時期不穏な間柄になったこともあったが、今ではお互いに認め合い、《Ⅶ組》の中でも最強のコンビとなっている。

フィーの参加で、なんとか試験に必要な人数を集めることが出来たリィンたちは、ほっと胸を撫で下ろしていた。

「助かったよ、フィー。これで無事に依頼を遂行することが出来そうだ」

「そうね。まさかラウラ以外、皆忙しいとは思わなかったわ……」

「……そうなの？」

未だに眠いのか、目元を擦りながらフィーが尋ねる。

「うむ。だからこそそなたに感謝を。助かったのは事実だ」

「……そう。ならよかった」

ぐいっと背筋を伸ばし、フィーがベンチから立ち上がる。

それを確認したアリサは、皆に向けて告げた。

「じゃあ一度シャロンのところへ行きましょう。たぶんそろそろ寮に戻って来ていると思うし」

「ああ」「承知した」「……ん。了解」

三者三様に返事をし、リィンたちは第三学生寮へと歩を進めた。

学生寮でシャロンに試験メンバーが集まったことを報告したリィンたちは、その足でギムナジウムにある修練場へと向かった。

いつもはフェンシング部などが活動をしているが、お昼前ということもあり、今は空いているようだった。

ラウラとフィーが自身のＡＲＣＵＳをシャロンに渡し、リィンたちからそれぞれ新型のＡＲＣＵＳを受け取る。

少しの間、物珍しそうにそれを観察していた二人だったが、早速装備し、準備が万全であることを態度で表していた。

「皆さま、本日はラインフォルトからのご依頼にお集まりいただいたことを、会長に代わり、私の方からお礼を申させていただきます」

恭しく頭を下げるシャロンに、リィンたちは少々こそばゆい思いだった。

「いえ、気にしないでください。理事であるイリーナ会長には、俺たちもお世話になっていますし、協力出来ることがあるなら、いつでも言ってくれて構いません」

　リィンの言葉に、ラウラとフィーも頷く。
　アリサは腕を組みながらも、少々赤みを帯びた顔で、「まあ無下には出来ないし……」と言っていた。
　そんな彼女の様子にふふっと嬉しそうな微笑みを浮かべたシャロンは、改めて今回の趣旨を説明し始めた。
「ありがとうございます、皆さま。それでは私の方から、此度のご依頼を改めてご確認させていただきます。今回、皆さまに試験していただくのは、新たに開発されたＡＲＣＵＳです。改良点といたしましては、より戦術リンクの精度を向上させ、戦闘での連携を一ランク上のものへと昇華させることを目的としております」
「つまり今まで以上に強力な連携技が出来ると？」
　ラウラがそう問えば、シャロンは笑顔を崩さずに首肯した。
「その通りです。現段階のＡＲＣＵＳでも、皆さまはかなり高いレベルで戦術リンクを使いこなしています。ですので、この試験が成功すれば、恐らくは〝二身一体〟という、高次元のシンクロが可能になるでしょう」
「二身一体……」
　ごくりとリィンたちは固唾を飲む。
　もし仮にそれが可能になったとして、《剣仙》ユン・カーファイと、《光の剣匠》ヴィクター・

Ｓ・アルゼイドが戦術リンクを組んだとしたならば、恐らくはたった二人で帝国軍を壊滅させることが出来ると言っても、過言ではないだろう。
　もちろん未だ完成の域には達していないし、二人が帝国軍を壊滅させることなどないとは思うが、この試験には、それほどの可能性が秘められているということだ。
「とはいえ、まだまだ試験段階ですので、皆さまはどうぞお気を楽にして、試験に臨んでくださいませ」
　リィンたちの緊張を見抜いたであろうシャロンが、場の空気をやんわりと和やかなものに変える。
　おかげで大分気が楽になったリィンたちは、互いに頷き、早速試験を始めることにした。
　リィンはアリサと、ラウラはフィーとそれぞれペアを組み、戦術リンクを結んで対峙する。
　立会人をするのは、言わずもがなシャロンだ。
　模擬戦とはいえ、気迫は真剣。
　両陣営ともに鋭い睨みをぶつけ合う。
　リィンは東方由来の剣——太刀を、アリサは導力式の弓をそれぞれ構え、対するラウラは身の丈ほどもある大剣を、フィーは双銃剣を両手に構え、シャロンの合図を今か今かと待ち侘びていた。
「それでは——始め！」

『――っ！』

瞬間、真っ先に駆け出したのは、リィンとフィーだった。

両者ともにスピードを重視するタイプの戦闘スタイルだからだ。

すかさずアリサは弓でリィンの援護をするが、

「甘い！」

「くっ⁉」

ラウラの剛剣に阻まれ、そのまま肉薄される。

「燃え尽きなさい――ファイヤ！」

が、アリサの炎の矢――《フランベルジュ》がラウラを襲う。

しかしラウラも一歩も退かない。

特攻の勢いを殺さず飛び上がり、アリサの技――つまりは〝クラフト〟を躱して自らのクラフト――《鉄砕刃》を仕掛ける。

「砕け散れ！」

「させるか！ ――せいや！」

そこに飛来するのは、リィンが放った三日月型の斬撃――《弧影斬》だ。

「なんの！」

咄嗟に剣を翻し、ラウラはリィンの斬撃をガードする。

「余所見は感心しない。――行くよ」

一瞬の隙を突き、リィンに向けてフィーの十字刃――《スカッドリッパー》が放たれる。

「そこだ！ ――たあ！」

リィンはそれを迎え撃つため、刀身を鞘へと収め、抜刀術――《紅葉切り》を放った。

「「……っ」」

二人の剣戟が火花を散らし、両者はさらなる追撃を仕掛けようと、互いのペアの名を叫ぶ。

「行くぞ、アリサ！」「ラウラ、決めるよ！」

「分かった！」「任せるがよい！」

その瞬間――戦術リンクが発動した。

『――なっ⁉』

だがそれは彼らの想像していたものではなかった。

凄まじい輝きがＡＲＣＵＳから放たれ、その場にいた全員が顔を覆った。

一瞬にも永遠にも思えたその輝きは、いつの間にやら消失し、リィンたちは恐る恐る辺りを確認した。

とくに何が起こったわけでもない。

修練場の中に、別段変わった様子は見られなかった。
「シャロンさん、今のは……？」
アリサがそう問えば、シャロンは不思議そうに小首を傾げた。
「……お嬢さま？」
「まったくなんなのよ……」
リィンがうんざりしたようにそう言えば、シャロンはさらに首を傾げた。
「あら……？　リィンさま？」
「今のは一体なんだったのだ？　大丈夫か？　フィー」
さらには凛々しい口調で言うフィーと、
「……ん。大丈夫」
眠そうな顔で返答するラウラ。
「あら、これはもしかしますと……」
笑顔を保ちつつも、困惑したような声のシャロンに、一同は反応が遅れてしまったが、改めて周囲を見回したことで、何かがおかしいことに気がついた。
「あれ……？　どうして自分の姿が見えるんだ……？」リィンに向けて言うアリサ。
「えっ……？　なんで私が喋ってるの……？」アリサに向けて言うリィン。
「む？　フィーの姿がないぞ？」フィーを探すフィー。

英雄伝説 閃の軌跡
～メンタルクロスリンク～

「……ラウラ、わたしはここ」自分はフィーだと言うラウラ。
『……』
静寂――そして大絶叫。
「ええええええええええええええええっっ⁉　こ、これは一体どういうことよ⁉　って、なんで私がリィンの声で喋ってるのよ⁉」
「お、落ち着け、アリサ――いや、俺！　って、どうして俺が俺を宥めてるんだ⁉」
「もしかして……フィーか？」
「……ん。そう言うわたしはラウラ？」
「うむ。どうやらそのようだ」
「って、なんであなたたちはそんなに冷静なのよ⁉　私たち入れ替わっちゃったのよ⁉」
そう、違和感の正体。
それは戦術リンクを組んでいた互いの精神が、〝入れ替わってしまった〟ということだった。
リィンはアリサと、アリサはリィンと。
ラウラはフィーと、フィーはラウラと。
何故かそれぞれの精神が入れ替わり、鏡もないのに自分が自分の身体を見つめる事態となってしまっていたのだ。
「あらあら、これは困りましたわ」



英雄伝説 閃の軌跡
～メンタルクロスリンク～

「困りましたわじゃないわよ⁉　どうなってるのよ、これは⁉」

　この状況でも優雅に構えるシャロンに、リィンが女性の言葉を使いながら猛抗議する。

　些か気味が悪いが、中身はアリサなのでそれも仕方のないことだった。

「恐らく戦術リンクの精度を向上させたＡＲＣＵＳの誤作動により、精神がシンクロを通り越して交換されてしまったのではないかと」

「みたいだね」

「うむ。珍しい経験だな」

「だからどうしてあなたたちはそんなに冷静なのよ⁉」

　とくに動じた様子を見せないラウラとフィーに、リィン（アリサ）は声を荒らげる。

「まあ相手がフィーだからな」

「……ん。わたしもラウラなら別に構わない」

「あ、あなたたちねえ……」

　互いに微笑み合う両者に、アリサは出る言葉もなかった。

「とにかく落ち着こう、アリサ。必ず解決策があるはずだ」

「……そうね」

　何故自分に諭されなければならないのか、言いしれぬ脱力感に苛まれながらも、アリサは幾許かの落ち着きを取り戻したようだった。

「――お嬢さま。いえ、今は〝お坊ちゃま〟とお呼びした方がよろしいでしょうか？」

「それが無駄な気遣いだと分かっててやってるでしょ、あなた」

ジト目のアリサを軽やかにやり過ごし、シャロンは続ける。

「実は私、一つ考えたことがございまして」

「もしかして何か解決策があるの⁉」

シャロンの言葉に、アリサは期待に胸を膨らませた。

この悪夢のような状況から脱せるのならば、多少強引な方法でも構わない。

リィンことアリサはそう覚悟を決め、シャロンの言葉を待った。

が。

「――〝弟〟というのもよいものですね」

「……はっ？」

シャロンの考えは斜め上の方向だった。

呆然とするアリサに、シャロンは頬に手をあてながら言った。

「いえ、実は私、前々から〝弟が欲しい〟と思っておりまして」

「ごめんなさい。あなたが今何を言っているのか、全然まったくこれっぽっちも分からないし、分かりたくもないわ」

叱責の念を込めてそう言うも、シャロンは揺るがなかった。

英雄伝説 閃の軌跡
～メンタルクロスリンク～

「願いが叶ってよかったですわ」

「全然よくないわよ⁉ どうしてくれるのよ⁉ 私に一生リィンでいろって言うの⁉」

「いや、そんなに嫌がらなくても……。これでも毎日鍛錬を欠かしたことは」

「あなたは黙ってて！」

くわっと自分でも見たことのないような形相で一喝され、「わ、分かった……」とリィンはラウラたちの元へと退避した。

「まあそう気に病むな。そのうちなんとかなるはずだ」

「ああ、そうだといいが……。とりあえずありがとう、フィー……じゃなく、ラウラか」

「……ん。わたしはこっち」

言いながら、寝ぼけ眼のラウラが自分を指差す。

ややこしいな……、と内心リィンは思いつつ、なるべく早めに状況の改善を願うのだが、

「さあ、どうぞ〝お姉ちゃん〟と呼んでくださいませ」

「呼ばないわよ⁉ というか、あなたこの状況を楽しんでるでしょ⁉」

「……はあ」

それはあの二人が落ち着くまで、しばらく叶いそうにもなかった。

ただ一つ言えるのは、自分が時折内股になり、女性の言葉を使って怒鳴り散らしている姿を見るのは、この上なく心にダメージを負うということだけだった。

FALCOM MAGAZINE SPECIAL プレゼント!!

アンケートにお答えいただいた方から抽選で
ここでしか手に入らないアイテムをプレゼント！

今月のプレゼントはこちら!!



① 2名様

①英雄伝説 空の軌跡
リベール王国スナップショット

3月10日発売のファルコムブックス最新刊がいち早く登場！ もう予約した人も保存用・布教用にもう1冊!?



② 2名様

②啄木鳥しんき先生&新久保だいすけ先生
サイン入りクリアファイル

スペシャルアイテムを手に入れるこれが最後のチャンス！
2大作家共演グッズを見逃すな!!

プレゼントの応募方法

こちらのアンケートの回答を下記のアドレスまでメールにてお送りください。
プレゼントの当選者には編集部よりメールにてお知らせ致します。

宛先：
件名：vol.49　プレゼント係

1：お名前（ペンネーム可）
2：面白い→
　つまらない→
　（記事一覧から1つずつ）
3：①
　②
　（はい・いいえ／作品名）
4：希望するプレゼント番号
5：ご意見・ご感想など

【記事一覧】

1：『東京ザナドゥ』最新情報
2：『空の軌跡 FC Evolution』最新情報
3：『みんな集まれ！ファルコム学園』
4：アニメ『ファルコム学園SC』レポート漫画
5：アニメ『ファルコム学園SC』最新情報
6：漫画『英雄伝説 閃の軌跡』
7：小説『英雄伝説 閃の軌跡』裏
8：jdkバンドドラマー・オカジの人生半キャラずらし
9：jdkバンドボーカル・コテカナのコテ放題
10：ティオのファルコムラジオめんどくさいです…
　でもがんばりますの舞台裏
11：ファルコムニュース

アンケート

①好きな
　イラストレーターは
　誰ですか？

②『みんな集まれ！
　ファルコム学園』で
　好きなキャラは
　誰ですか？

特設サイトからも応募ができます!
http://www.field-y.co.jp/root/index.php/falmagap

宛先はこちら➡ falmaga@field-y.co.jp 応募締め切り 3月26日

メールにてお送りいただくお名前やご住所等の情報は、賞品の発送のためのみに利用し、その他の目的には利用致しません。
また、情報は応募締め切り後3ヶ月を越えて保有することはありません。

今度の『空の軌跡』小説はナイアル&ドロシーが主役！

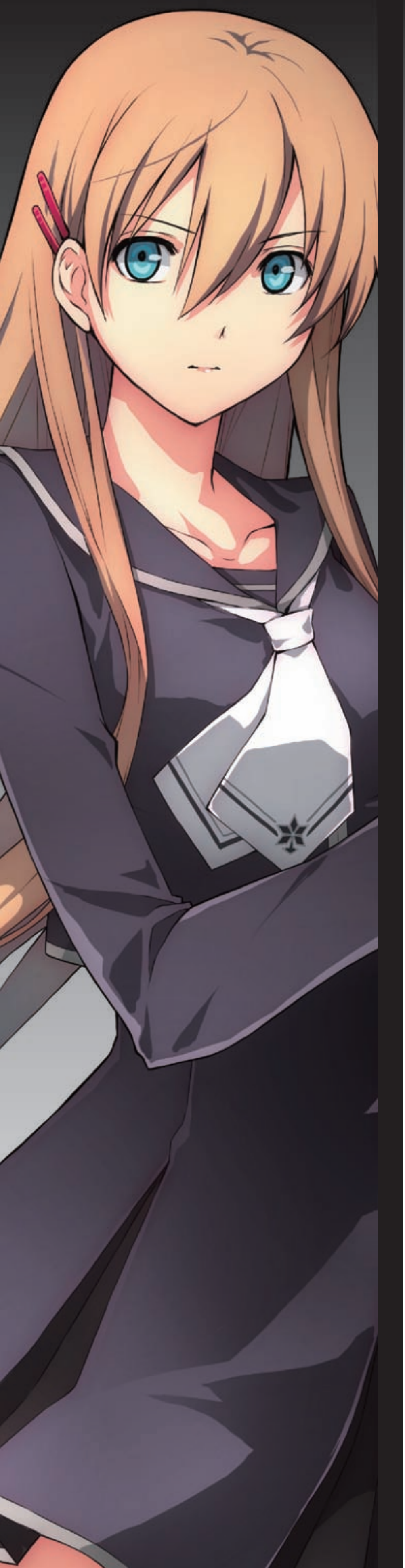


英雄伝説 空の軌跡 リベール王国スナップショット

シリーズ累計200万本を突破した、日本ファルコムの大人気RPG『軌跡』シリーズ。その中でも特に人気の高い『空の軌跡』シリーズから外伝小説が登場！ リベール通信社のナイアル&ドロシーの記者コンビが、リベール国内の取材旅行中に出遭った人たちとの触れ合いを描いていく、心温まるハートフルストーリー4篇を収録。

2015年
3月10日発売!
1,200円+税

判型：B6正寸　並製ページ数:296
ISBN：978-4-89610-846-0
発行元:フィールドワイ　発売元:メディアパル



月刊 FALCOM MAGAZINE Vol.49

発行人　田中一寿

発行協力　日本ファルコム株式会社

編集　小渕智幸
大場恵美子

デザイン・DTP　さとうだいち／石橋青大

表紙ロゴデザイン　荻窪裕司（ビーニーズ）

発行　株式会社フィールドワイ
〒 101-0062
東京都千代田区神田駿河台3-1-9　日光ビル3F
TEL 03-5282-2211（代表）
http://www.field-y.co.jp/

制作・販売協力　シナノ印刷株式会社